

2010年度

歯学部研究年報



明海大学

MEIKAI UNIVERSITY

目 次

	頁
形態機能成育学講座	
解剖学 分野	1
口腔解剖学 分野	3
生理学 分野	5
口腔小児科学 分野	8
歯科矯正学 分野	12
口腔生物再生医工学講座	
生化学 分野	16
微生物学 分野	18
歯周病学 分野	20
基礎生物学 分野	26
基礎化学 分野	27
機能保存回復学講座	
歯科生体材料学 分野	28
歯科補綴学 分野	31
保存修復学 分野	37
歯内療法学 分野	39
オーラル・リハビリテーション学 分野	41
基礎物理学 分野	43
病態診断治療学講座	
病理学 分野	44
薬理学 分野	47
総合口腔診断学 分野	54
歯科放射線学 分野	56
口腔顎顔面外科学 分野 1	58
口腔顎顔面外科学 分野 2	64
社会健康科学講座	
口腔衛生学 分野	68
スポーツ歯学 分野	71
障害者歯科学 分野	72
医療倫理 分野	74
総合臨床医学講座	
内科学 分野	75
麻酔学 分野	76
MPL	79

形態機能成育学講座

解 剖 学 分 野

口 腔 解 剖 学 分 野

生 理 学 分 野

口 腔 小 児 科 学 分 野

齒 科 矯 正 学 分 野

解剖学分野

A. 著書および訳本

1. 著書

- 1) 天野 修 他 (分担) : 最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能 解剖学・組織発生学・生理学, 医歯薬出版, 2011.
- 2) 天野 修 他 (分担) : 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学, 医歯薬出版, 2010.

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Sasaki A, Yamada T, Inoue K, Momoi T, Tokunaga H, Sakiyama K, Kanegae H, Suda N, Amano O: Localization of heat shock protein 27 (hsp27) in the rat gingiva and its changes with tooth eruption. *Acta Histochem Cytochem*, 44, 17-24, 2011.
- 2) Jitsuno M, Yokosuka A, Hashimoto K, Amano O, Sakagami H, Mimaki Y: Chemical constituents of *Lycoris albiflora* and their cytotoxic activities. *Nat Prod Commun*, 6, 187-192, 2011.
- 3) Ariyoshi-Kishino K, Hashimoto K, Amano O, Saitoh J, Kochi M, Sakagami H: Tu mor-specific cytotoxicity and type of cell death induced by benzaldehyde. *Anticancer Res*, 30, 5069-5076, 2010.
- 4) Honda H, Abe S, Ishida R, Watanabe Y, Iwanuma O, Sakiyama K and Ide Y : Expression of HGF and IGF-1 during regeneration of masseter muscle in mdx mice. *J Muscle Res Cell Motil*, 32, 71-77, 2010.

2. 総説

- 1) Amano O, Doi T, Yamada T, Sasaki A, Sakiyama K, Kanegae H and Kindaichi K : Meckel's Cartilage : Discovery, Embryology and Evolution -Overview of the Specificity of Meckel's Cartilage-. *J Oral Biosci*, 52, 125-35, 2010.

D. 学会発表

2. 全国学会

(1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 天野 修 : 唾液腺の解剖・組織から HSP まで. 第 34 回日本口腔外科学会教育研修会, 大阪府, 2010 年 8 月

(2) シンポジウム

- 1) 實野真季, 横須賀章人, 三卷祥浩, 橋本 研, 天野 修, 坂上 宏 : ヒガンバナ科植物 *Habranthus brachyandrus* および *Lycoris albiflora* の化学成分と細胞毒性に関する研究 (6). 第 18 回天然薬物の開発と応用プログラム, 東京都, 2010 年 11 月

(3) 一般演題

- 1) Bando Y, Sakiyama K, Inoue K, Adachi Y, Owada Y, Amano O: Localization of epidermal-type fatty acid binding protein (E-FABP) in the tibial epiphyseal plates of mice. The 116th Annual Meeting of the Japanese Association of Anatomists, Yokohama, 2011/3.
- 2) Inoue K, Bando Y, Takizawa S, Momoi T, Sakiyama K, Sakashita H, Amano O: De-velopment and degeneration of mouse thy-rogllossal duct. The 116th Annual Meeting of the Japanese Association of Anatomists, Yokohama, 2011/3.
- 3) Momoi T, Bando Y, Inoue K, Sakiyama K, Owada Y, Suda N, Amano O: Localization of heart-type fatty acid-binding protein in oral muscles of mice. The 116th Annual Meeting of the Japanese Association of Anatomists, Yokohama, 2011/3.
- 4) 崎山浩司: IGF-1 遺伝子導入による筋収縮タンパク(Myosin Heavy Chain)への影響について. 第 11 回明海歯科医学会学術大会, 坂戸市, 2010 年 9 月

3. 地方会

(3) 一般演題

- 1) 坂東康彦, 崎山浩司, 井上勝元, 安達泰弘, 大和田祐二, 天野 修: マウス骨端板軟骨における表皮型脂肪酸結合タンパク(E-FABP)の局在. 第 98 回関東支部学術集会, 東京都, 2010 年 10 月.

E. その他, 研究会, 講演など

- 1) 崎山浩司: 頭頸部の基本的な構造-摂食・嚥下に関連する解剖学-. 第 3 回河田町歯科口腔外科懇話会, 2011 年 2 月

F. 研究助成金等の受け入れ

1. 文部省科学研究費補助金

1) 基盤研究 (C)

天野 修: 頭頸部の胎生期組織の発生・成長・消失調節機構の解明

2) 若手研究(B)

崎山浩司: 摂食・嚥下機能の低下を伴う口腔癌周囲筋組織の機能変化の 解明

3. 宮田研究奨励金 (A)

- 1) 崎山浩司: IGF-1 遺伝子導入による筋収縮タンパク(Myosin Heavy Chain)への影響について.

口腔解剖学分野

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 笥 光夫 : 生体アパタイト結晶の形成機構, 結晶構造の欠陥と異所性石灰化. J Fossil Res, 43(2),80-90, 2011 年

D. 学会発表

1. 国際学会

(2) シンポジウム

- 1) Kakei M, Sakae T, Mishima H, and Yoshikawa M : Transmission electron microscopy of vascular calcification. 37th European Symposium on Calcified Tissues, Glasgow, June 2010
- 2) Mishima H, Kake Mi, and Miake Y : Histological and analytics studies of dermal exoskeleton and tooth of Eusthenopteron from Devonian. 37th European Symposium on Calcified Tissues, Glasgow, June 2010

(3) 一般演題

- 1) Sato T, Hayashida C, Okayasu M, and Hakeda Y : Osteocytic MLO-Y4 cells inhibit osteoclastogenesis by a soluble factor(s), independent of modulation of RANKL/OPG productions by stromal cells. American Society for Bone and Mineral Research, 2010 Annual Meeting, Toronto, Oct 2010
- 2) Okayasu M, Hada N, Hayashida C, Sato T, and Hakeda Y : Highly-requirement of exogenous cholesterol and positive role of lipid raft for osteoclast differentiation. American Society for Bone and Mineral Research, 2010 Annual Meeting, Toronto, Oct 2010

2. 全国学会

(1) 特別講演 (教育講演)

(2) シンポジウム

- 1) 笥 光夫 : 生体アパタイト結晶の形成機構, 結晶構造の欠陥と異所性石灰化. 化石研究会, 新潟, 2010 年 5 月.
- 2) 笥 光夫 : ヒザラ貝歯舌の鉄化合物とアパタイト結晶に関する電顕所見. バイオミネラルワークショップ, 東京, 2010 年 11 月
- 3) 三島弘幸, 徳弘将光, 笥 光夫, 安井敏夫, 見明康雄 : シルル紀から石炭紀のコノドント化石の組織構造と組成の解析. 高知大学海洋総合研究, 高知, 2011 年 3 月

(3) 一般演題

- 1) 佐藤卓也 : Limitin が破骨前駆細胞において発現促進する microRNA の網羅的解析と, そのターゲット mRNA の検索と破骨細胞形成における役割の検討. 明海歯科医学会, 坂戸, 2010 年 6 月

- 2) 林田千代美, 佐藤卓也, 岡安麻里, 羽毛田慈之: 破骨細胞形成における骨細胞の影響を分析可能にする三次元培養系の開発. 第 52 回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2010 年 9 月

F. 研究助成金等の受け入れ

1. 文部省科学研究費補助金

- 1) 羽毛田慈之, 佐藤卓也, 金田利夫: 破骨細胞の分化機能におけるコレステロール要求性と caveolin-1 の役割を探る. 基盤研究(C)

3. 宮田研究奨励金 (A) および (D)

- 2) 佐藤卓也: 宮田研究奨励金 (A) In vivo での骨細胞機能を反映する骨組織モデル培養系の開発

生理学分野

A. 著書および訳本

1. 著書

- 1) 外崎肇一：気になるニオイまるごと解決！. アントレックス（東京），2010
- 2) 外崎肇一：超乎想像的氣味驚奇. 辰星出版（台中市，台湾），2010
- 3) 外崎肇一：ビジュアル生理学・口腔生理学（第二版）和泉博之・浅沼直和（編），学建書院（東京）pp.26-55, 294-299, 2010

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 村本和世, 外崎肇一, 柁秀人：鋤鼻受容体の発現は副嗅球との相互作用によって維持される. 日本味と匂学会誌, 17 (3), 433-436, 2010
- 2) 谷口睦男, 稲垣秀晃, 村本和世, 柁秀人, 武内ゆかり, 森裕司：ラット鋤鼻感覚細胞の揮発性化学物質プロパンジオールに対する応答. 日本味と匂学会誌, 17 (3), 445-448, 2010
- 3) Muramoto K, Quan R-D, Namba T, Kyotani S, Miyamura M, Nishioka Y, Tonosaki K, Doi YL and Kaba H : Ameliorative effects of *Eriobotrya japonica* seed extract on cellular aging in cultured rat fibroblast. Journal of Natural Medicines, 65 (2), 254-261, 2011
- 4) Inagaki H, Taniguchi M, Muramoto K, Kaba H, Takeuchi Y and Mori Y : The effect of vapor of propylene glycol on rats. Chemical Senses, 35: 221-228, 2010
- 5) 村本和世：投射標的との相互作用に依存した鋤鼻ニューロンでの V2R ファミリー受容体遺伝子の発現誘導と機能成熟. 明海歯科医学, 39 (1): 6-12, 2010

C. その他の刊行物

- 1) 外崎肇一：においの今. 北海道新聞（1月5日朝刊），2010
- 2) 外崎肇一：働きもののカラダのしくみ. Health 日経ヘルス, 日経 BP 社（東京），2010
- 3) 外崎肇一：特集ワイド・あって当然体のにおい. 毎日新聞（6月8日夕刊），2010
- 4) 外崎肇一：今晚はこの食材で決まり！！ハーブ. Health 日経ヘルス, 日経 BP 社（東京），2010
- 5) 外崎肇一：エコの探偵団. 日本経済新聞，2010
- 6) 外崎肇一：汗の季節？ において悪いかストップ無臭志向. POCO21, 98, 22-25, パルシステム生活協同組合連合会，2010
- 7) 外崎肇一：超強力？男前デオドラント. R25/choice 特別発行, 40-41, メディアシェイカーズ（東京），2010

D. 学会発表

1. 国際学会

- (3) 一般演題

- 1) Tonosaki K : Pleasant and unpleasant odors on stress. AACSS 学会, オーストラリア,メルボルン, 2010 年 12 月

2.全国学会

(3) 一般演題

- 1) 栗原琴二, 中西信夫, 友村明人, 外崎肇一: 雄マウスの顎下腺に多く発現しているカリクレイン(KLK1b26)蛋白質を翻訳する mRNA の 5'末端部分に特異的に相互作用する雌マウス顎下腺の miRNA. 第 87 回日本生理学大会, 岩手県・盛岡市, 2010 年 5 月
- 2) 村本和世: アデノウイルス・ベクターを用いた“ニオイ受容体”の in vitro 発現系およびニオイ応答評価系の確立, 明海歯科医学会第 11 回学術大会, 埼玉県・坂戸市, 2010 年 6 月
- 3) 村本和世, 外崎肇一, 柁秀人: 鋤鼻受容体の発現は副嗅球との相互作用によって維持される. 日本味と匂学会第 44 回大会, 福岡県北九州市, 2010 年 9 月
- 4) 谷口睦男, 稲垣秀晃, 村本和世, 柁秀人, 武内ゆかり, 森裕司: ラット鋤鼻感覚細胞の揮発性化学物質プロパンジオールに対する応答, 日本味と匂学会第 44 回大会, 福岡県北九州市, 2010 年 9 月
- 5) 栗原琴二, 中西信夫, 友村明人, 外崎肇一: 雄マウスの顎下腺に多く発現しているカリクレイン蛋白質を翻訳している mRNA に特異的に相互作用する雌マウス顎下腺の miRNA. 第 52 回歯科基礎医学会総会, 東京都・江東区, 2010 年 9 月
- 6) 栗原琴二, 中西信夫, 友村明人, 外崎肇一: 顎下腺マイクロ RNA の蛋白質翻訳過程への干渉によるカリクレインの性差発生, 第 55 回日本唾液腺学会, 東京都・文京区, 2010 年 12 月
- 7) Muramoto K, Quan R-D, Namba T, Kyotani S, Miyamura M, Nishioka Y, Tonosaki K, Doi YL and Kaba H : *Eriobotrya japonica* seed extract ameliorates cellular aging in cultured rat fibroblast. The Journal of Physiological Sciences, 61 (suppl. 1), S137, 第 88 回日本生理学会・第 116 回日本解剖学会合同大会 (集會中止に伴う誌上発表) 2011 年 3 月

E.その他, 研究会, 講演など

- 1) 外崎肇一: ホンマでっか?! . フジテレビ, 4 月 19 日, 23:20-23:50 放映, 2010 年 4 月
- 2) 外崎肇一: ホンマでっか?! . フジテレビ, 5 月 17 日, 23:10-23:40 放映, 2010 年 5 月
- 3) 外崎肇一: たけしの日本のミカタ「老化なんかこわくない」, TV 東京, 12 月 10 日, 21:54-22:54 放映, 2010 年 12 月
- 4) 外崎肇一: シルシルミシル. フジテレビ, 2 月 2 日, 23:15-24:15 放映, 2011 年 2 月
- 5) 外崎肇一: ドラクロワ. NHK 総合テレビ, 2 月 7 日, 22:55-23:25 放映, 2011 年 2 月
- 6) 外崎肇一: 嗅覚と病気のニオイ. JST 先端研究調査研究会, 奈良女子大学 (奈良県奈

良市), 2010年3月

7) 外崎肇一: においを嗅げば病気がわかる. 独立行政法人科学技術振興機構セミナー, 愛知県・名古屋市, 2010年8月

8) 村本和世, 権蓉丹, 外崎肇一, 栴秀人: 鋤鼻細胞の増殖/生存維持と主要尿タンパク質 (MUP) の役割, 第14回 鋤鼻研究会, 高知県・芸西村, 2010年6月

F. 研究助成金等の受け入れ

3. 宮田研究奨励金 (A) および (D)

1) 栗原琴二: 宮田奨励金A, 唾液腺カリクレイン発現量の性差を決定するマイクロRNAの分子生物学的解析: マイクロRNAの新規生理機能提示

口腔小児科学分野

A. 著書および訳本

1. 著書

- 1) 渡部 茂: EBM 小児疾患の治療 2010-2011, XI ころ・小児保健・思春期, In 4. 思春期の歯科保健, 歯科治療の原則, 五十嵐隆監修, 中外医学社, 東京, pp589-593, 2011

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Ke-wen Wei, Kun Xuan, Yan-li Liu, Jun Fang, Kun Ji, Xi Wang, Yan Ji, Shigeru Watanabe, Koji Watanabe and Takashi Ogihara : Clinical, pathological and genetic evaluations of Chinese patients with autosomal-dominant hypophosphatasia. Archives Oral Biol 55, 1017-1023, 2010
- 2) Y. Nakamura, H. Kodama, T. Satoh, K. Adachi, S. Watanabe, Y. Yokote and H. Sakagami : Diurnal Changes in Salivary Amino Acid Concentrations. in vivo 24, 837-842, 2010
- 3) S. Takahashi, T. Ogihara, R. Kuroshita, H. Kurihara, T. Nakamura, H. Watanabe and S. Watanabe : Effects of Soft Drink on Salivary pH in the mouth. J Meikai Dent Med 39, 81-84, 2010
- 4) H. Sakagami, L. Zhou, S. Amano, R. Kuroshita, S. Watanabe, H. Nakashima, K. Skine, et.al. : Multiple Biological Complex of Alkaline Extract of the Leaves of Sasa senanensis Rehder. in vivo 24, 735-744, 2010
- 5) Yuko Fujita, Koji Watanabe, Shinsaku Uchikanbori and Kenshi Maki : Effects of risedronate on cortical and trabecular bone of the mandible in glucocorticoid-treated growing rats. Am J Orthod Dentofacial Orthop 139(3), 267-277, 2011
- 6) T. Ogihara, S. Watanabe, K. Watanabe, H. Kurihara, T. Nakamura, Y. Ochiai and S. Takahashi : Effects of Fluoride on Remineralization as Assessed by Quantitative Light-induced Fluorescence Method. J Meikai Dent Med 40, 62-66, 2011
- 7) 大橋英夫, 高森一乗, 渡部 茂, 中村幸生 : QLFによるEr:YAGレーザー照射歯面とエア・タービン切削窩洞の観察. 日本レーザー歯学雑誌 21, 141-148, 2010
- 8) 高森一乗, 大橋英夫, 渡部 茂, 白川哲夫 : 小児・発達障害児歯科支援におけるレーザーのエビデンスとその効果. 日本レーザー歯学雑誌 21, 83-88, 2010

3. 症例報告

- 1) 鈴木 昭, 吉田美香子, 八木 茜, 岩下あいり, 山田亜由子, 中村朋美, 渡部 茂 : 化学療法剤が原因で生じたと思われる歯の形成障害の1例. 小児口腔外科雑誌 20, 177-181, 2010

C. その他の刊行物

- 1) 渡部 茂：子どもの口腔環境と唾液. 小児科臨床 63, 2010-2011, 2010
- 2) 渡部 茂：乳児健診で見落とししたくない歯科の問題. さいたま小児保健 53, 26-30, 2010
- 3) 渡部 茂：唾液はどこから出てくるの. 朝日新聞 Do 科学, 2010, 6月21日
- 4) 渡部 茂：大学における現状と課題 小児歯科専門医養成の現状. 小児歯科臨床 15, 43-45, 2010
- 5) 高橋昌司：キレイな歯でスマイル BEAUTY. 集英社, セブンティーン 42(7), 2010

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) K. Watanabe, T. Ogihara, H. Ohashi, A. Suzuki, and S. Watanabe : Evaluation of tooth demineralization using μ CT. 7th Biennial Conference Pediatric Dentistry Association of Asia, Manila, Philippine, July, 2010
- 2) T. Ogihara, H. Ohashi, H. Kurihara, K. Watanabe, T. Kakegawa, S. Watanabe and H. Nishimura : Effects of Fluoride on Remineralization as Assessed by Quantitative Light-induced Fluorescence Method. 7th Biennial Conference Pediatric Dentistry Association of Asia, Manila, Philippine, July, 2010
- 3) S. Watanabe, T. Ogihara, S. Takahashi, K. Watanabe, K. Xiuan and A. Suzuki : Salivary clearance and pH in the different regions in mouth. 88th General Session & Exhibition of the IADR, Barcerona, Spain, July, 2010
- 4) S. Takahashi, T. Ogihara, K. Watanabe, A. Suzuki and S. Watanabe : Suppressive effects of saliva against enamel demineralization by acid beverages. 88th General Session & Exhibition of the IADR, Barcerona, Spain, July, 2010
- 5) K. Watanabe, K. Xuan, S. Takahashi, T. Ogihara and S. Watanabe : Effects of fluoride-releasing dental materials on bovine enamel erosion. 58th JADR, Kitakyusyu, Japan, November, 2010

2. 全国学会

(1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 渡部 茂：唾液と口腔内 pH -緩衝能の正しい理解-. 日本ヘルスケア歯科学会, 特別講演, 東京, 2010年7月
- 2) 渡部 茂：小児歯科と子ども学. 第7回日本子ども学会議学術集会, 川越, 2010年10月

(2) シンポジウム

- 1) 渡部 茂：乳児健診で見落とししたくない歯科の問題. 埼玉県小児保健教会 第73回研究会, さいたま, 2010年6月

(3) 一般演題

- 1) 高橋昌司, 荻原 孝, 黒下礼奈, 渡辺幸嗣, 鈴木 昭, 渡部 茂：清涼飲料による

- 歯の脱灰，および唾液による抑制効果．第48回日本小児歯科学会，名古屋，2010年5月
- 2) 渡辺幸嗣，荻原 孝，大橋英夫，鈴木 昭，渡部 茂：歯の石灰化度の評価におけるマイクロCTの応用．第48回日本小児歯科学会，名古屋，2010年5月
 - 3) 鈴木 昭：再石灰化療法の確立－就寝時における口腔内pHモニタリングと（光誘導蛍光定量法）を用いた部位特異性の評価．第11回明海歯科医学会，埼玉，2010年6月
 - 4) 田中敏子，渡辺幸嗣，河岸重則，吉野賢一，中島秀彰，牧 憲司：学童の唾液中アルミニウムおよび鉄濃度と齲蝕との関連．第21回日本微量元素学会，京都，2010年7月
 - 5) 渡辺幸嗣，荻原 孝，落合慶行，渡部 茂：牛歯石灰化度の3次元的评价－マイクロCTを応用して－．第52回歯科基礎医学会学術集会・集会，東京，2010年9月
 - 6) 田中庄二，渡部 茂，町野 守，安達一典，坂上 宏：加齢に伴う唾液アミノ酸組成変化．第52回歯科基礎医学会学術大会・総会，東京，2010年9月
 - 7) 落合慶行，荻原 孝，山田亜由子，岩下あいり，渡辺幸嗣，渡部 茂：唾液による小児の精神的ストレス評価耳下腺唾液中クロモグラニンA, コルチゾール, アミラーゼ濃度に及ぼす分泌速度の影響．第57回日本小児保健学会，新潟，2010年9月
 - 8) 高橋昌司，荻原 孝，八木 茜，黒下礼奈，渡部 茂：清涼飲料が口腔内唾液pHに及ぼす影響．第57回日本小児保健学会，新潟，2010年9月
 - 9) 田中庄二，秋田沙代子，池下久登，小口寛子，渡部 茂，町野 守：小児年齢における歯周病原細菌の検出頻．第7回日本子ども学会議学術集会，川越，2010年10月
 - 10) 北原俊彦，中寫義治，巢瀬賢一，斉藤純三，今阪俊介，藤原陽子，鈴木 昭，渡部 茂：障害を持った子どもたちに対する地域歯科保健医療．－所沢市歯科診療所あおぞら開設後10年の診療実態と地域連携について－．第7回日本子ども学会議学術集会，川越，2010年10月
 - 11) 横塚祐二，重松久夫，荻原 孝，磯野 敦，真野樹子，渡部 茂，坂下英明：未成年者における構音と言語発達に関する臨床的検討．第7回日本子ども学会議学術集会，川越，2010年10月
 - 12) 荻原 孝，吉田美香子，中村朋美，栗原 仁，高橋昌司，鈴木 昭，渡部 茂：歯の外傷の予防に関する統計調査．第7回日本子ども学会議学術集会，川越，2010年10月
 - 13) 山田亜由子，高橋昌司，荻原 孝，落合慶行，岩下あいり，八木 茜，黒下礼奈，渡辺幸嗣，鈴木 昭，渡部 茂：清涼飲料摂取による口腔内への影響－小児に対する清涼飲料摂取状況のアンケート結果を中心に－．第7回日本子ども学会議学術集会，川越，2010年10月
 - 14) 渡辺幸嗣，荻原 孝，巢瀬賢一，栗原 仁，中村朋美，渡部 茂：エナメル質脱灰に対するフッ素徐放性歯科材料の再石灰化に及ぼす効果．平成22年度秋季小児歯科学会，郡山，2010年12月

- 15) 荻原 孝, 高橋昌司, 吉田美香子, 鈴木 昭, 重松久夫, 坂下英明, 渡部 茂: 第二乳臼歯埋伏についての臨床的考察. 第22回日本小児口腔外科学会学術大会, 東京, 2010年12月
- 16) 巢瀬賢一: 口腔内環境の部位特異性に関する研究—上顎前歯部唇面と臼歯部頬面における唾液クリアランスと pH—. 第13回明海歯科医学会第13回学術大会, 坂戸, 2010年12月
- 17) 中村朋美: μ CTを応用したエナメル質表層下脱灰病変の新しい評価法—ミネラル量の客観的・3次元・非侵襲的数値化を目指して—. 第13回明海歯科医学会第13回学術大会, 坂戸, 2010年12月

F. 研究助成金等の受け入れ

1. 文部省科学研究費補助金

研究代表者, 渡部 茂: 平成 22 年度科学研究費補助金実績報告書. 睡眠中の口腔内環境 —pH モニタリングと QLF によるエナメル質脱灰の評価—

3. 宮田研究奨励金 (A) および (D)

高橋昌司: 各種 100%オレンジ果汁飲料の成分分析と QLF およびマイクロ CT を用いた脱灰リスクの評価. 宮田奨励金(A)

歯科矯正学分野

A. 著書および訳本

1. 著書

- 1) 高戸毅監修, 須田直人, その他: 患者の顔貌に何らかの症候群を疑ったら. 医師・歯科医師のための口腔診療必携-困ったときのマニュアル・ヒント集, 金原出版, 東京, 2010

2. 訳本

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Kawafuji A, Suda N, Ichikawa N, Kakara S, Suzuki T, Baba Y, Ogawa T, Tsuji M, Moriyama K : Systemic and maxillofacial characteristics of patients with Beckwith-Wiedemann syndrome not treated with glossectomy. Am J Orthod Dentofacial Orthop 139, 517-525, 2011
- 2) Suda N, Bazar A, Bold O, Jigid B, Gardkhuu, A, Ganburged G, Moriyama K : A Mongolian patient with hypohidrotic ectodermal dysplasia with a novel P121S variant in EDARADD. Orthod Craniofac Res, 13, 114-117, 2010
- 3) Suda N, Ogawa T, Kojima T, Saito C, Moriyama K. Non-syndromic Oligodontia with a Novel Mutation of PAX9. J Dent Res, 90, 382-6, 2011
- 4) Ganburged G, Suda N, Saito M, Yamazaki Y, Isokawa K, Moriyama K. : Dilated capillaries, disorganized collagen fibers and differential gene expression in periodontal ligaments of hypomorphic fibrillin-1 mice. Cell Tissue Res, 341, 381-95, 2010
- 5) Suda N, Hattori M, Kosaki K, Banshodani A, Kozai K, Tanimoto K, Moriyama K : Correlation between genotype and supernumerary tooth formation in cleidocranial dysplasia. Orthod Craniofac Res. 2010。 Orthod Craniofac Res 13, 197-202, 2010
- 6) Sasaki A, Yamada T, Inoue K, Momoi T, Tokunaga H, Sakiyama K, Kanegae H, Suda N, Amano O : Localization of heat shock protein 27 (hsp27) in the rat gingiva and its changes with tooth eruption. Acta Histochem Cytochem 44, 17-24, 2011
- 7) Otsuka Y, Momoi T, Oi M, Sakurai Y, Matsui S, Kanegae H : Photoelastic Stress Analysis of Upper Molars Intrusion Using Temporary Anchorage Device(TAD). 明海歯科医学, 39,53-58, 2010
- 8) 村上文登, 金子浩巳, 根岸垂矢子, 大井迪, 長谷川紘也, 桃井知子, 真野樹子, 重松久夫, 横塚裕二, 坂下英明, 鐘ヶ江晴秀 : 習慣性齶症を有する片側性唇顎口蓋裂児の成長発育と顎顔面および気道形態との関連性について. 明海歯科医学 39,59-64, 2010
- 9) 松村知佐, 吉川正芳, 鐘ヶ江晴秀 : 上下顎同時移動術を行った成人顔面非対称症例 : 東京矯正歯科学会雑誌 20,11-16, 2010
- 10) Hasegawa H, Kido S, Tomomura M, Fujimoto K, Ohi M, Kiyomura M, Kanegae H, Inaba A, Sakagami H and Tomomura A : Serum Calcium-decreasing Factor, Caldecrin, Inhibits

Osteoclast Differentiation by Suppression of NFATc1 Activity. The Journal of Biological Chemistry, 285, 25448 ? 25457, 2010

- 11) 大塚雄一郎, 松井 成幸, 新井 美月, 梅崎 栄作, 鐘ヶ江 晴秀 : 矯正歯科用インプラントを固定源として用いた上顎臼歯部圧下メカニクスの力学的評価. ??頬舌的牽引部位の違いによる影響について一. Orthodontic Waves-Japanese Edition 日本矯正歯科学会誌 69(2), 2010

D.学会発表

1.国際学会

(3) 一般演題

- 1) Suda N : Effect of Angiotensin II receptor blocker on the experimental periodontitis in the mouse model of Marfan syndrome. 歯の形態形成研究班発表会, 2011年3月
- 2) Ganburged G, Suda N, Saito M, Yamazaki Y, Isokawa K, Moriyama K. : Microfibril is essential for normal development of periodontal ligaments (PDLs). 8th General session of Internatinal Association for Dental Research. Barcelona, Spain, 2010年7月
- 3) Suda N, Ganburged G, Saito M, Yamazaki Y, Isokawa K, Moriyama K : Fibrillin-1 is indispensable for normal collagen fiber architecture and gene expression in periodontal ligament. 10th Tooth morphogenesis and differentiation. 10 th Tooth morphogenesis and differentiation, Berlin, Germany, 2010年9月
- 4) Suzuki H, Suda N, Shiga M, Nakamura M, Iseki S, Moriyama K. : Osteoblastic differentiation of transgenic mice overexpressing Apert syndrome-type mutant FGFR2 and its soluble form. 10 th Tooth morphogenesis and differentiation, Berlin, Germany, 2010年 9月
- 5) M.Takei,T.Saeki,H.Mishima,M Yoshikawa : TRANSMISSION ELECTRON MICROSCOPY OF VASCULAR CALCIFICATION . 37thEuropean symposium on calcified tissues,Glasgow,Scotland, 2010年6月
- 6) Mari OKAYASU, Naoto HADA, Chiyomi HAYASHIDA, Takuya SATO, Yoshiyuki HAKEDA : Highly-requirement of Exogenous Cholesterol and Positive Role of Lipid Raft for Osteoclast Differntiation. American Bone and Mineral Research 2010 Annual Meeting, 2010年9月
- 7) Takuya SATO, Chiyomi HAYASHIDA, Mari OKAYASU, Yoshiyuki HAKEDA : Osteocytic MLO-Y4 Cells Inhibit Osteoclastgenesis by a Soluable Factor(s), Independent of Modulation of RANKL/OPG Productions by Stromal Cells. American Bone and Mineral Research 2010 Annual Meeting, 2010 年9月
- 8) OtsukaY, Kirkpatrick SJ, Komazawa D, Matsui S, and Kanegae H : Influences of Occlusal Force on Mandibular Bone Surface. Internatinal Association or Dental Research. July 14-17, 2010, Barcelona, Spain, 2010年7月

2.全国学会

(3) 一般演題

- 1) 吉川秀明, 田草川徹, 竹島浩, 嶋田淳, 藤田昌樹, 吉川正芳, 松井成幸, 鐘ヶ江晴

- 秀, 長坂浩: 進行性下顎頭吸収症を伴う上下顎移動術を施行1ヵ月後, 重症筋無力症を発症した1症例. 第20回日本顎変形症学会, 北海道, 2010年5月
- 2) 阿彦 希, 須田 直人, 辻 美千子, 小川 卓也, 大隈 瑞恵, 福岡 裕樹, 岡村 里花, 鈴木 一史, 馬場 祥行, 森山 啓司: EC 症候群患者における全身および顎顔面・口腔領域の異常に関する検討. 第34回日本口蓋裂学会, 東京, 2010年5月
 - 3) 須田直人, 富永直子, 新中康史, 天笠光雄, 森山啓司: 下顎臼歯部歯槽骨切り術後に LeFort I 型骨切り術と下顎枝矢状分割術を施行した下顎狭窄歯列を伴う顔面非対称症例. 第20回日本顎変形症学会総会, 札幌, 2010年6月
 - 4) 大塚雄一郎, 松井成幸, 神原 学, 櫻井洋介, 権田秋華, 根岸亜矢子, 田中藍, 鐘ヶ江晴秀: 長期において特徴的な顎顔面頭蓋形態の成長様相を認めた骨格性下顎前突症例に関する一考察. "第20回日本顎変形症学会総会, 札幌, 2010年6月
 - 5) 須田直人, 小川卓也, 小島拓, 斉藤力, 森山啓司. PAX9 遺伝子に新規フレームシフト型変異を有する先天性多数歯欠損家系の解析. 第52回日本歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2010年9月
 - 6) Ganjargal Ganburged, 須田直人, 森山啓司: マルファン症候群の歯周疾患モデルにおける Angiotensin II receptor blocker (Telmisartan) の薬理効果. 第69回日本矯正歯科学会, 横浜, 2010年9月
 - 7) 須田直人, Ganjargal Ganburged. Marfan 症候群のモデルマウスに誘発した歯周疾患に対する Angiotensin II receptor blocker (Telmisartan) の薬理効果. 第8回エラスチン研究会学術集会, 東京, 2010年12月
 - 8) 池田倫世, 伊藤洋介, 大隈瑞恵, 小川卓也, 辻美千子, 須田直人, 森山啓司: 分野を受診した Down 症候群患者の歯科臨床的特徴について - 頭蓋顎顔面形態に関する検討-. 第69回日本矯正歯科学会, 横浜, 2010年9月
 - 9) 大宅彩, 保田裕子, 渡辺千穂, 大隈瑞恵, 小川卓也, 辻美千子, 須田直人, 森山啓司: 当分野を受診した Down 症候群患者の歯科臨床的特徴について - 永久歯の異常に関する検討-. 第69回日本矯正歯科学会, 横浜, 2010年9月
 - 10) 三上智彦, 森田淳平, 大隈瑞恵, 小川卓也, 辻美千子, 須田直人, 森山啓司: 当分野を受診した Down 症候群患者に対する矯正歯科的アプローチ. 第69回日本矯正歯科学会, 横浜, 2010年9月
 - 11) 鈴木 尋之, 須田 直人, 志賀 百年, 谷本幸穂, 中村 正孝, 井関 祥子, 森山 啓: Apert 症候群型の変異 FGFR2 (S252W) とその可溶性変異体を過剰発現するトランスジェニックマウスの細胞生物学的解析. 第69回日本矯正歯科学会, 横浜, 2010年9月
 - 12) 大井迪, 長谷川紘也, 江川里紗, 遠藤則和, 田中恵理, 中谷地舞, 村丘寛実, 友村明人, 鐘ヶ江晴秀: 閉経後骨粗鬆症モデルマウスに対する血清カルシウム降下因子カルデクリンの骨吸収抑制効果の検討. 第69回日本矯正歯科学会, 横浜, 2010年9月
 - 13) 吉川正芳, 田中藍, 藤田昌樹, 桃井知子, 松本美樹, 永山英恵, 富田敬子, 斉藤薫, 鐘ヶ江晴秀: エッチング処置後のエナメル質の結晶の再石灰化におよぼす人工唾液の

影響について. 第 69 回日本矯正歯科学会, 横浜, 2010 年 9 月

- 14) Tomomura A, Hasegawa H and Tomomura M : Serum Calcium-decreasing Factor, Caldecrin, inhibits Osteoclast Differentiation by Suppression Activity. 第 83 回日本生化学会大会, 神戸, 2010 年 12
- 15) 大塚雄一郎, Sean J Kirkpatrick, 新井美月, 櫻井洋介, 神原学, 松井成幸 : 下顎頭へのメカニカルストレスが下顎頭頸部および下顎肢に与える力学的影響—ESPI 変位解析法を用いて—. 第 69 回日本矯正歯科学会, 横浜, 2010 年 9 月
- 16) 大塚雄一郎, Sean J Kirkpatrick, 駒沢大悟, 新井美月, 櫻井洋介, 神原学, 松井成幸 : ESPI を用いた咬合力負荷時における下顎骨表面の面内変位解析の試み. 日本実験力学学会 2010 年度年次講演会, 長崎, 2010 年 8 月

E. その他, 研究会, 講演など

- 1) 須田直人 : 病診連携における大学病院矯正歯科の役割. 第 3 回明海大学病院病診連携講演会, 2011 年 3 月
- 2) 須田直人 : マルファン症候群の近年のトピックと歯科的問題点. 埼玉医科大学卒後教育委員会後援学術集会, 埼玉, 2011 年 3 月
- 3) 須田直人 : 歯数異常に関する遺伝子型と表現型の多様性. 第 2 回顎顔面の器官発生・形態形成研究会, 2010 年 10 月

口腔生物再生医工学講座

生 化 学 分 野

微 生 物 学 分 野

歯 周 病 学 分 野

基 礎 生 物 学 分 野

基 礎 化 学 分 野

生化学分野

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Hasegawa H, Kido S, Tomomura M, Fujimoto K, Ohi M, Kiyomura M, Kanegae H, Inaba A, Sakagami H and Tomomura A : Serum calcium-decreasing factor, caldecrin, inhibits osteoclast differentiation by suppression of NFATc1 activity. *J Biol Chem.* 285(33):25448-57, 2010
- 2) Tsutsumi K, Takano T, Endo R, Fukuda M, Ohshima T, Tomomura M and Hisanaga S : Phosphorylation of AATYK1 by Cdk5 suppresses its tyrosine phosphorylation. *PLoS One.* 5(4):e10260, 2010
- 3) Takano T, Tsutsumi K, Saito T, Asada A, Tomomura M, Fukuda M and Hisanaga S : AATYK1A phosphorylation by Cdk5 regulates the recycling endosome pathway. *Genes Cells.* 15(7):783-97, 2010
- 4) Tomomura M, Fujii T, Sakagami H and Tomomura A : Serum calcium-decreasing factor, caldecrin, ameliorates muscular dystrophy in dy/dy mice. *In vivo.* 25(2) : 157-163, 2011
- 5) 藤本健吾, 大井迪, 長谷川紘也, 鐘ヶ江晴秀, 稲葉明美, 友村美根子, 友村明人 : 血清カルシウム降下因子 (カルデクリン) による滑膜線維芽細胞の RANKL 発現の抑制. *明海歯科医学* 39 : 42-51, 2010

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) Takano T, Tsutsumi K, Saito T, Asada A, Tomomura M, Fukuda M and Hisanaga S : AATYK1A phosphorylation by Cdk5 regulates the recycling endosome pathway. 第 62 回日本細胞生物学会, 大阪, 2010 年 5 月
- 2) Takano T, Tsutsumi K, Saito T, Asada A, Tomomura M, Fukuda M and Hisanaga S : AATYK1A phosphorylation by Cdk5 regulates the recycling endosome pathway. 33 回日本神経科学大会, 神戸, 2010 年 9 月
- 3) 坂上宏, テットメイモ, 河野みち代, 友村美根子, 友村明人, 櫛田達矢, 牧野徹 : マウスマクロファージにおけるシイタケ菌糸体由来リグニン配糖体のシグナル伝達経路の DNA マイクロアレー解析. 第 52 回歯科基礎医学会学術大会, 松戸, 2010 年 9 月
- 4) 藤本健吾, 稲葉明美, 友村美根子, 友村明人 : 血清カルシウム降下因子カルデクリンによるリウマチ進行抑制効果. 第 52 回歯科基礎医学会学術大会, 松戸, 2010 年 9 月
- 5) 友村美根子, 坂上宏, 友村明人 : 筋ジストロフィーにおけるカルデクリンの治療効果. 33 回日本分子生物学会年会・第 83 回日本生化学会大会, 神戸, 2010 年 12 月

- 6) 友村明人, 長谷川紘也, 友村美根子 : Serum calcium-decreasing factor, caldecrin, inhibits osteoclast differentiation by suppression of NFATc1 activity. 第 33 回日本分子生物学会年会・第 83 回日本生化学会大会, 神戸, 2010 年 12 月
- 7) Takano T, Tsutsumi K, Yamazaki R, Saito T, Asada A, Fukuda M, Tomomura M, Hisanaga. S: AATYK1A phosphorylation by Cdk5 regulates neurite outgrowth via recycling endosome pathway. 第 33 回日本分子生物学会年会・第 83 回日本生化学会大会, 神戸, 2010 年 12 月
- 8) 増田裕子, 上田純也, 田村雅史, 坂上宏, 友村美根子, 友村明人, 白瀧義明 : Marie Noel ‘Velano’ バルブ抽出物の生理活性について. 日本薬学会第 131 年会, 静岡, 2011 年 3 月
- 9) 堀井春香, 上田純也, 田村雅史, 坂上宏, 友村美根子, 友村明人, 白瀧義明 : 白鶴霊芝の成分と生理活性について. 日本薬学会第 131 年会, 静岡, 2011 年 3 月

3. 地方会

(3) 一般演題

- 1) 藤本健吾 : 血清カルシウム降下因子カルデクリンは関節リウマチ治療薬となりうるか. 第 11 回明海歯科医学会, 坂戸, 2010 年 6 月

微生物学分野

A. 著書および訳本

1. 著書

- 1) 大森喜弘, 天野滋, 廣井美紀 : 2010 年度 微生物学実習. DPT 出版, 1-81, 2010 年 11 月

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Fukuda M, Ehara M, Suzuki S, Ohmori Y and Sakashita H : IL-23 promotes growth and proliferation in human squamous cell carcinoma of the oral cavity Int J Oncol. 36. 1355-1365, 2010
- 2) Nallar SC, Kalakonda S, Sun P, Ohmori Y, Hiroi M, Mori K, Lindner DJ and Kalvakolanu DV : Identification of a Structural Motif in the Tumor-Suppressive Protein GRIM-19 Required for Its Antitumor Activity. Am J Pathol. 177. 896-907, 2010

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 廣井美紀, 大森喜弘 : HIF-2 α による IFN γ 誘導性ケモカイン CXCL9、CXCL10 の発現抑制機構. 第 52 回日本歯科基礎医学会総会, 東京, 2010 年 9 月
- 2) 森一将, 廣井美紀, 嶋田淳, 大森喜弘 : 口腔扁平上皮癌における腫瘍関連 M2 マクロファージの局在. 第 52 回日本歯科基礎医学会総会, 東京, 2010 年 9 月

E. その他, 研究会, 講演など

- 1) 大森喜弘 : ゆとり教育世代の歯学部教育を考える 専門教育への橋渡しを探る. 日本私立歯科大学協会 第 8 回研修会シンポジウム, 東京, 2010 年 12 月

F. 研究助成金等の受け入れ

1. 文部省科学研究費補助金

- 1) 大森喜弘, 廣井美紀 : 抗炎症性マクロファージにおける遺伝発現制御機構の解析. 文部省科学研究費補助金, 基盤研究(C), 代表
- 2) 森一将, 大森喜弘 : 新規アポトーシス制御因子 GRIM-19 の発現制御機構の解析. 文部省科学研究費補助金, 基盤研究(C), 分担
- 3) 廣井美紀 : インターフェロン γ 誘導性遺伝子の低酸素による発現抑制機構の解析. 文部省科学研究費補助金, 若手研究(B), 代表
- 4) 天野 滋, 関根圭輔 : 破骨細胞分化と機能発現機構における内因性ウィントシグナルの関与の解明. 文部省科学研究費補助金, 基盤研究(C), 代表

2. その他の公的機関からの助成金

1) 天野 滋 : Green Brasil プロポリス中に存在する破骨細胞形成抑制活性成分の同定及び骨改善効果. 株式会社 大木, 2010 年 4 月

3. 宮田研究奨励金 (A) および (D)

1) 廣井美紀 : 低酸素による IFN γ 誘導性遺伝子の発現抑制における PIAS の役割. 宮田奨励研究金 (A)

歯周病学分野

A. 著書および訳本

1. 著書

- 1) 難波智美, 申 基喆: 歯科衛生士のX線読影力!! 臨床で120%活用するために. 第2章症例別X線読影【歯周病症例】 3 骨欠損形態と骨再生, Dhstyle 増刊号 pp56-59, デンタルダイヤモンド社, 2010
- 2) Carranza FA, Takei HH and Kitetsu Shin: Chapter59 The Flap Technique for Pocket Therapy. In:Carranza's Clinical Periodontology 11th edition, Newman MG, Takei HH, Klokkevold PR, and Carranza FA. Elsevier Saunders, St. Louis, 562-571, 2011
- 3) 辰巳順一, 申 基喆: インプラント周囲炎への対応 -3 中等度～重度インプラント周囲炎への対応例. In. 歯周病患者におけるインプラント治療の実践. 特定非営利活動法人日本臨床歯周病学会編, 医学情報社, 東京, p196-203, 2011
- 4) 辰巳順一, 申 基喆: インプラント周囲炎への対応 -2 軽度のインプラント周囲炎への対応例. In. 歯周病患者におけるインプラント治療の実践. 特定非営利活動法人日本臨床歯周病学会編, 医学情報社, 東京, p186 - 195, 2011

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Miyazaki Y, Kikuchi K, Gonzalez-Alva P, Inoue H, Noguchi Y, Tsuchiya H, Hayashi J, Shin K, Ochiai K, and Kusama K. : Association of Butyric Acid Produced by Periodontopathic Bacteria with Progression of Oral Cancer, Journal of Cancer Science & Therapy, 2(2), 26-32, 2010
- 2) Onishi H, Arakawa S, Nakajima T, Izumi Y : Levels of specific immunoglobulin G to the forsythia detaching factor of Tannerella forsythia in gingival crevicular fluid are related to the periodontal status. Journal of Periodontal Research, 45: 672 – 680, 2010

2. 総説

- 1) 大塚秀春, 林 丈一朗, 申 基喆: 共振型音波歯ブラシ DENT.EX systema ビブラートケアに対する効果. DENTAL magazine, 134 p8-11, 2010
- 2) 辰巳順一, 谷田部一大, 成田宗隆, 難波智美, 林 丈一朗, 申 基喆: 私の研究室から -明日の歯科臨床に直結するテーマが研究課題. 日本歯科評論, 70(9), p9-11, 2010

C. その他の刊行物

- 1) 申 基喆: 歯周病学基礎実習書. リュウワ印刷, 2010
- 2) 申 基喆: 歯周治療の立場からみた咬合性外傷の治療. 日本歯科評論, 70(1), 83-93, 2010
- 3) 申 基喆: 骨を作るⅡ、-失敗する理由、気づいてますか?-. 東京医科歯科大学歯科同窓会講演会テキスト, 2010

- 4) 申 基喆：フラップ手術の基本を学ぶ ～オープンフラップキュレタージ～. 日本歯科医師会雑誌 63(1), 49-52, 2010
- 5) 吉成伸夫, 有田博一, 奥田一博, 林丈一朗, 若林健史, 古市保志：日本歯周病学会認定医申請症例報告書の作成方法について. 日本歯周病学会会誌 52 巻 2 号 191-200, 2010
- 6) 申 基喆：歯周外科治療を検証する – 一般臨床医のためのフラップ手術入門 –. デンタルダイヤモンド, 8, 21-42, 2010

D.学会発表

1.国際学会

(2) シンポジウム

- 1) Eric Rompen, Michael Danesh-Meyer, 井上秀人, 小濱忠一, 鈴木真名, 松川敏久, 申基喆：インプラント周囲組織の審美的維持と工夫. Nobel Biocare Symposium Asia-Pacific 2010, 2010 年 8 月
- 2) 申 基喆：天然歯 & インプラントのティッシュマネージメント. 第 6 回日本国際歯科大会, 2010 年 10 月

(3) 一般演題

- 1) Narita M, Tatsumi J, Ishii M, Matsuda A, Mikami K and Shin K : Clinical consideration of several decontamination methods to treat peri-implantitis.. 88th General Session of the International Association for Dental Research, Barcelona, Spain, 2010 年 7 月
- 2) Hayashi J, Otsuka H, Namba S, Omura H, Yatabe K, Matsuda A, Goto S, Hasegawa A and Shin K : Effects of Periodontal Treatment on Systemic Conditions in Diabetic Patients, 96th Annual Meeting of the American Academy of Periodontology in collaboration with the Japanese Society of Periodontology, Hawaii, USA, 2010 年 10 月
- 3) Yatabe K, Tatsumi J, Nishimura S, Ro M, Ishii M, Mikami K, Narita M, Hayashi J and Shin K : Study on the decontamination of dental implant surface. 96th Annual Meeting of the American Academy of Periodontology in collaboration with the Japanese Society of Periodontology, Hawaii, USA , 2010 年 11 月
- 4) Hayakumo S, Arakawa S, Onishi H, Komaki M, Nakagawa I and Izumi Y : Effectiveness of ozone nano bubble water for periodontal therapy. The 50th Anniversary, General Session and International Congress of the Korean Academy of Periodontology, Seoul, Korea, 2010 年 11 月

2.全国学会

(2) シンポジウム

- 1) 辰巳順一：インプラント治療後のメンテナンスとインプラント周囲炎への対応法. 第 14 回一般社団法人日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会 歯科衛生士スキルアップセミナー, 浦安, 2010 年 12 月
- 2) 辰巳順一：歯周・インプラント外科手術に必要な縫合の基本知識とテクニック これこれで解決・上達に必要な縫合の理論と実践. 第 28 回日本顎咬合学会学術大会, 東京,

2010年6月

(3) 一般演題

- 1) 小林宏明、長澤敏行、竹内康雄、渡辺 香、北川原 聡、藤川佳奈、若松美江、大西英知、小柳達郎、鈴木俊文、谷口陽一、南原弘美、早雲彩絵、姫野彰子、高橋充、高松秀行、和田真由子、柳 憲一郎、山井雅文：ヒアルロン酸配合チューインガムによる歯肉炎改善効果に関する研究。第53回春季日本歯周病学会学術大会，盛岡，2010年5月
- 2) 成田宗隆，辰巳順一，西村将吾，呂 宗彦，吉本達也，安井照美，大塚秀春，林 丈一郎，申 基喆：インプラント周囲炎治療に関する基礎的研究 第2報 イヌ実験的インプラント周囲炎に対する各種除染処置後の臨床的变化。第53回春季日本歯周病学会学術大会，盛岡，2010年5月
- 3) 石井麻紀子，辰巳順一，小村尚徳，三上晃一郎，岩元 潮，安武幹智，程 錦雁，大久保宏，袴塚康治，申 基喆：イヌ末梢血由来細胞添加 β -TCPによる骨再生効果の検討。第53回春季日本歯周病学会学術大会，盛岡，2010年5月
- 4) 早雲彩絵、大西英知、荒川真一、和泉雄一 オゾンナノバブル水の歯周炎に対する効果の検討。第53回春季日本歯周病学会学術大会，盛岡，2010年5月
- 5) 谷田部一大，松田敦至，武田宏幸，申 基喆：包括的治療を行った広汎型侵襲性歯周炎患者の長期経過症例，第53回春季日本歯周病学会学術大会，盛岡，2010年5月
- 6) 難波智美，福嶋太郎，申 基喆：咬合崩壊を伴った重度慢性歯周炎患者への包括的治療。第53回春季日本歯周病学会学術大会，盛岡，2010年5月
- 7) 戸梶 仁聡：歯周病患者に対するインプラント治療の治療成績に関する疫学的研究-骨増大の有無と術式が予後に及ぼす影響について-。明海歯科医学会第11回学術大会，坂戸，2010年6月
- 8) 成田 宗隆：イヌ実験的インプラント周囲炎に対する各種除染方法の有効性に関する研究。明海歯科医学会第11回学術大会，坂戸，2010年6月
- 9) 小村尚徳，申 基喆：2次性咬合性外傷を伴う重度慢性歯周炎患者に包括的治療を行った症例。第53回春季日本歯周病学会学術大会，高松，2010年9月
- 10) 石井麻紀子，辰巳順一，小村尚徳，成田宗隆，西村将吾，呂 宗彦，岩元 潮，安武幹智，程 錦雁，大久保 宏，袴塚康治，申 基喆：イヌ末梢血由来細胞添加 β -TCPによる骨再生効果。第53回秋季日本歯周病学会学術大会，高松，2010年9月
- 11) 大塚秀春，三上晃一郎，難波智美，寺西麻里奈，大西英知，谷田部一大，林 丈一郎，申 基喆：明海大学付属病院歯周病科におけるショートインプラントの臨床成績-ショートインプラントの応用に関する考察-。第53回秋季日本歯周病学会学術大会，高松，2010年9月
- 12) 三上 晃一郎：イヌ実験的インプラント周囲炎に対する各種除染方法の有効性に関する組織学的検討。明海歯科医学会第12回学術大会，坂戸，2010年10月
- 13) 石井 麻紀子：イヌ末梢血由来付着性細胞と β -TCPによる骨再生効果。明海歯科医学会第12回学術大会，坂戸，2010年10月

3.地方会

(1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 林 丈一朗：歯周病と糖尿病について．熊谷糖尿病ネットワーク第 13 回特別例会，熊谷内科医会勉強会，2010 年 8 月
- 2) 申 基喆：テーマ講演 3 メインテナンス：歯周病患者におけるインプラント治療後のメインテナンスを考える．社団法人日本口腔インプラント学会 第 30 回 関東・甲信越支部学術大会，2011 年 2 月

E.その他,研究会,講演など

- 1) 申 基喆，辰巳順一，林 丈一朗：歯周外科シリーズ① ペリオとインプラントのためのスーチャリングテクニック 誰も教えてくれなかった縫合理論と、役に立つ 12 種類の縫合．明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部，明海大学 PDI 浦安歯科診療所，浦安，2010 年 4 月
- 2) 大塚秀春：歯周治療の基本技術 ―モチベーション(動機づけ)に必要な知識と技術．社団法人埼玉県歯科衛生士会 平成 22 年度 第 1 回第三次生涯研修会，さいたま，2010 年 5 月
- 3) Henry H. Takei, Perry R. Klokkevold, Thomas J. Han, 申 基喆，渡辺隆史：歯周病とインプラント ベーシックコース ―UCLA・明海大学・朝日大学ジョイントプログラム― セッション 1. 明海大学・朝日大学生涯研修部研修部，東京，2010 年 5 月
- 4) 辰巳順一，林 丈一朗：ICOI Fellowship Program 第 2 日目．明海大学・朝日大学生涯研修部研修部，明海大学 PDI 東京歯科診療所，東京，2010 年 5 月
- 5) 申 基喆，辰巳順一：基礎から学ぶ歯周治療 ―歯周病をどう捉え臨床に応用するか― 第 1 回歯周診査と病態把握のコツ．明海大学歯学部同窓会 2010 年度学術研修会，東京，2010 年 6 月
- 6) 辰巳順一：高齢者におけるインプラントの現状 ―ケアを含めた歯周治療の立場から―．東京都立心身障害者口腔保健センター主催平成 22 年度口腔保健研修会，飯田橋，2010 年 6 月
- 7) 林 丈一朗：クリニカルステップアップセミナー 3. 歯周「ステップアップ歯周基本治療」．明海大学・朝日大学生涯研修部研修部，東京，2010 年 6 月
- 8) Henry H. Takei, Perry R. Klokkevold, Thomas J. Han, 申 基喆，渡辺隆史：歯周病とインプラント ベーシックコース ―UCLA・明海大学・朝日大学ジョイントプログラム― セッション 2. 明海大学・朝日大学生涯研修部研修部，東京，2010 年 7 月
- 9) 申 基喆：明海大学歯学部附属明海大学病院の概要．さいたまテレビ，ごご玉，2010 年 7 月
- 10) 申 基喆：若き歯科医師のためのクリニカルベーシックセミナー ―卒後 5 年以内の歯科医師を対象― 4. 歯周治療「わかっているもうまくいかない歯周治療の基本知識・手技」．明海大学・朝日大学生涯研修部研修部，浦安，2010 年 7 月
- 11) 申 基喆，辰巳順一，林 丈一朗：歯周外科シリーズ② ペリオとインプラントのためのハードティッシュマネジメント 歯周病患者に対する確実に低侵襲な歯周、インプラ

- ントの骨造成. 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部, 明海大学 PDI 浦安歯科診療所, 浦安, 2010年7月
- 12) 辰巳順一: 歯周外科とインプラント外科処置に必要な縫合の基本. (社)埼玉県北足立歯科医師会主催学術講演会, (社)北足立口腔保健センター, 2010年7月31日
 - 13) 申 基喆, 林 丈一郎: 基礎から学ぶ歯周治療 -歯周病をどう捉え臨床に応用するか- 第2回 治療計画の立て方と病原因子の除去. 明海大学歯学部同窓会 2010年度学術研修会, 東京, 2010年8月
 - 14) Henry H. Takei, Perry R. Klokkevold, Thomas J. Han, 申 基喆, 渡辺隆史: 歯周病とインプラント ベーシックコース -UCLA・明海大学・朝日大学ジョイントプログラム- セッション3. 2010年9月,
 - 15) 申 基喆, 難波智美: 基礎から学ぶ歯周治療-歯周病をどう捉え臨床に応用するか- 第3回ペリオドンタル・インスツルメンテーションと基本治療の流れ. 明海大学歯学部同窓会 2010年度学術研修会, 東京,2010年9月
 - 16) Henry H. Takei, Perry R. Klokkevold, Thomas J. Han, 申 基喆, 渡辺隆史: 歯周病とインプラント ベーシックコース -UCLA・明海大学・朝日大学ジョイントプログラム- セッション4. 明海大学・朝日大学生涯研修部研修部, 東京, 2010年10月
 - 17) 申 基喆: 新しい歯の話. 歯周病 (ペリオ) について. 埼玉新聞, 2010年10月
 - 18) 申 基喆, 林 丈一郎: 基礎から学ぶ歯周治療 -歯周病をどう捉え臨床に応用するか- 第4回 ペリオドンタルフラップ・マネージメント. 明海大学歯学部同窓会 2010年度学術研修会, 東京, 2010年10月
 - 19) 辰巳順一, 林 丈一郎. ICOI Fellowship Program 第2日目. 明海大学・朝日大学生涯研修部研修部, 明海大学 PDI 東京歯科診療所, 東京, 2010年11月
 - 20) 申 基喆: 基礎から学ぶ歯周治療 -歯周病をどう捉え臨床に応用するか- 第5回 意外と知らない歯周外科の基本. 明海大学歯学部同窓会 2009年度学術研修会, 東京, 2010年11月
 - 21) 辰巳順一: インプラント周囲炎の現状と対応, 明海大学歯学部同窓会近畿ブロック学術講演会, 大阪 2010年11月
 - 22) 林 丈一郎: 歯周医学 歯周病と全身疾患との関連性, 第2回「統合医学大使」(アンバサダー) 研修会, 東京, 2010年11月
 - 23) 申 基喆, 辰巳順一: 基礎から学ぶ歯周治療 -歯周病をどう捉え臨床に応用するか- 第6回 インプラントを含めた種々の歯周病患者の機能回復法, 明海大学歯学部同窓会 2010年度学術研修会, 東京, 2010年12月
 - 24) Henry H. Takei, Perry R. Klokkevold, Thomas J. Han, 申 基喆, 渡辺隆史: 歯周病とインプラント ベーシックコース -UCLA・明海大学・朝日大学ジョイントプログラム- セッション5. 明海大学・朝日大学生涯研修部研修部, 東京, 2010年12月
 - 25) 申 基喆: 骨再生の理論とテクニック -ペリオからインプラントまで-. 北海道大学歯学部歯科同窓会平成22年度特別講演会, 2011年2月
 - 26) 申 基喆: 「デンタル スーチャリング -歯科縫合の基本とハンズオンセミナー-」. 第14回 千葉県歯科医学大会, 千葉県, 8020 運動推進大会, 2011年2月

- 27) 辰巳順一：インプラント治療後のメンテナンスとインプラント周囲炎への対応．日本大学松戸歯学部口腔インプラント科，口腔顎顔面インプラント学講座，口腔インプラント研究会主催学術講演会，日本大学松戸歯学部 MD ホール，松戸，2011年2月

F.研究助成金等の受け入れ

1.文部省科学研究費補助金

- 1) 申 基喆，辰巳順一，林 丈一郎，大塚秀春，難波智美，小村尚徳：組織再生医工学を応用した新規インプラント周囲炎治療法の確立．平成 20～23 年度科学研究補助金(基盤研究(C))(課題番号 20592435)

2.その他の公的機関からの助成金

- 1) 申 基喆，辰巳順一，林 丈一郎：イヌを用いた骨再生材料の移植実験．受託研究費，オリンパス株式会社，2010年1月

基礎生物学分野

2.全国学会

(3) 一般演題

- 1) 三笠建次：Super-X 問題の解答状況の主成分分析. 明海歯科医学第 13 回学術大会, 埼玉, 2010 年 12 月

化 学

(石原真理子)

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Ishihara M, Wakabayashi H, Motohashi N. and Sakagami H : Quantitative Structure Cytotoxicity Relationship of Newly Synthesised Trihaloacetylazulenes Determined by a Semi-Empirical Molecular-Orbital Method (PM5) *Anticancer Res.*, 31: 515-520 2011 年

C. その他の刊行物

- 1) 石原 真理子 : 2010 年度総合理科実験, 79~93 ページ, (有)リュウワ印刷 (埼玉) 2010 年 9 月
- 2) 石原 真理子 : 化学Ⅲ講義ノート, (株) 博文社 (埼玉) 2011 年 3 月
- 3) 石原 真理子 : 科学特論Ⅲ (化学) 講義ノート, (株) 博文社 (埼玉) 2011 年 3 月

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Ishihara M. and Sakagami H. : Relationship between descriptors and cytotoxicity of newly trihaloacetylazulenes against oral cancer. 88th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR) (第 88 回国際歯科研究会議), スペイン, バルセロナ, July 2010

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 石原 真理子, 山内 雅司 : ヒト口腔癌細胞に対する傷害活性を有する新規テトラハイドロイソキノリン誘導体類のデザイン, 第 52 回歯科基礎医学会学術大会, タワーホール船堀 (東京) 2010 年 9 月
- 2) Ishihara Mariko : The designing of the new derivatives of tetrahydroisoquinoline having cytotoxic activity to human oral tumor cell. *Journal of Pharmacological Sciences* 115, 182 ページ, 第 84 回日本薬理学会年会(横浜) 2011 年 3 月

機能保存回復学講座

歯科生体材料学分野

歯科補綴学分野

保存修復学分野

歯内療法学分野

オーラル・リハビリテーション学分野

基礎物理学分野

歯科生体材料学分野

A. 著書および訳本

1. 著書

- 1) 日比野 靖, 山賀谷一郎, 長沢悠子, 中嶋 裕 : Introduction to Practical Dental Materials, 学建書院, 東京, 2010 年.

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Contreras RG, Adachi K, Yokote Y, Sakagami H, Hibino Y, Nakajima H and Shimada J: Quantification of enhanced osteoblastic adhesion to ultraviolet-treated titanium plate. *in vivo* 24, 519-524, 2010
- 2) Contreras RG, Vilchis JRS, Sakagami H, Nakamura Y, Nakamura Y, Hibino Y, Nakajima H and Shimada J: Type of cell death induced by seven metals in cultured mouse osteoblastic cells. *in vivo* 24, 507-512, 2010
- 3) 山賀谷一郎, 栗田 智, 長沢悠子, 日比野 靖, 中嶋 裕 : 親水性シリコーンゴム印象材の表面自由エネルギーについて. *明海歯学* 39, 75-80, 2010
- 4) 長沢悠子, 日比野 靖, 松本賢一, 中嶋 裕 : 試作カルボキシレート系仮着用セメントの性質に及ぼす S-PRG フィラーの効果. *日歯理工誌* 30, 56-62, 2011
- 5) Kasuga Y, Takahashi H, Akiba N, Minakuchi S, Matsushita N and Hishimoto M: Basic evaluation on physical properties of experimental fluorinated soft lining materials. *Dent Mater J* 30, 45-51, 2011

C. その他の刊行物

- 1) 中嶋 裕, 長沢悠子, 日比野 靖: 仮着材の種類とその特性. *日本歯科評論* 70(7), 42-48, 2010
- 2) 中嶋 裕 : 仮着用セメントの性質と取り扱い～接着性レジンセメントの特性を生かすために～. *日本歯科医師会雑誌* 68(8), 21-29, 2010

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Nagasawa Y, Nakajima H and Hibino Y: Retention of crowns to implant abutments using experimental provisional cements. 88th General Session & Exhibition of International Association of Dental Research, Barcelona, Spain, June, 2010
- 2) Kasuga Y, Takahashi H, Akiba N, Minakuchi S, Matsushita N and Hishimoto M: Development of soft denture lining materials containing

dodecafluoroheptyl-methacrylate or tridecafluorooctyl-methacrylate. 88th General Session & Exhibition of International Association of Dental Research, Barcelona, Spain, June, 2010

- 3) Shimoyama K, Kasuga Y, Akiba N and Minakuchi S: Evaluation of water absorption and discharge in foam swabs. 88th General Session & Exhibition of International Association of Dental Research, Barcelona, Spain, June, 2010
- 4) Iwaki M, Akiba N, Kasuga Y, Azuma A and Minakuchi S: Influences of silica coating agent on surface properties of PMMA. 88th General Session & Exhibition of International Association of Dental Research, Barcelona, Spain, June, 2010
- 5) Kasuga Y, Takahashi H, Inoue M, Akiba N, Minakuchi S, Matsushita N and Hishimoto M: Evaluation on physical properties of experimental fluorinated soft lining materials. 89th General Session & Exhibition of International Association of Dental Research, San Diego, U.S.A, March, 2011

2.全国学会

(3) 一般演題

- 1) 山賀谷一郎, 栗田 智, 長沢悠子, 日比野 靖, 中畠 裕: 親水性シリコーンゴム印象材の表面自由エネルギーについて. 第 55 回日本歯科理工学会学術講演会, 東京, 2010 年 4 月
- 2) 日比野 靖, 長沢悠子, 尾松 純, 栗田 智: サーマルサイクリングが硬質レジンの機械的性質に及ぼす影響. 第 55 回日本歯科理工学会学術講演会, 東京, 2010 年 4 月
- 3) 春日祐太, 高橋英和, 秋葉徳寿, 水口俊介, 松下調子, 菱本宗光: 新しいフッ素系軟質裏装材の開発. 第 119 回日本補綴歯科学会学術大会, 東京, 2010 年 6 月
- 4) 山賀谷一郎, 栗田 智, 尾松 純, 森山明勲, 和田賢一, 俵木 勉, 石田浩平, 長沢悠子, 日比野 靖, 中畠 裕: 合着用ガラスアイオノマーセメントの表面自由エネルギーについて. 第 56 回日本歯科理工学会学術講演会, 岐阜, 2010 年 10 月
- 5) 春日祐太, 高橋英和, 井上 実, 秋葉徳寿, 水口俊介: 試作フッ素系軟質裏装材の基礎的物性評価. 第 75 回口腔病学会学術大会, 東京, 2010 年 12 月
- 6) 春日祐太, 星野義人, 井上 実, 秋葉徳寿, 水口俊介, 小澤総喜, 角 保徳: OCT の歯科臨床への応用. OCT を用いた義歯床用レジンの裏装材との接着における評価. 第 3 回日本義歯ケア学会学術大会, 盛岡, 2011 年 1 月

F.研究助成金等の受け入れ

1.文部省科学研究費補助金

- 1) 中畠 裕: 基盤研究(C), インプラント上部構造物固定用セメント開発のための基礎研究.

2.その他の公的機関からの助成金

- 1) 角 保徳, 水口俊介, 春日祐太: 近赤外光・レーザー等を用いた新たな歯科疾患診断・治療用機器の開発に関する研究. 長寿医療研究開発費 (21 指-8), 平成 22 年度総括・

分担研究報告書，平成 22 年度長寿医療研究委託費，2011 年 3 月

歯科補綴学分野

A. 著書および訳本

2. 訳本

- 1) 佐々木啓一, 柴田孝典, 小出 馨, 近藤敦子, 高橋 睦, 浅沼直樹, 荒川いつか, 佐藤利英, 水橋 史, 小出勝義, 古谷野 潔, 築山能大, 山森徹雄, 清野和夫, 大川周治, 山本裕信, 津賀一弘 ほか: 13章 咬合高径 Vertical Dimension. In: Dawson Functional Occlusion from TMJ to Smile Design, 医歯薬出版株式会社, 2010

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Zhou C, Matsukawa T, Shimokawara S, Sone M, Yamamoto H, Ohmori K, Yaka T, Okutsu F, Kusano T and Ohkawa S : Influence of experimental palatal plate on mandibular position during continuous [n] phonation and at the physiologic rest position. Odontology 98 , 144-152, 2010
- 2) Liu X, Matsukawa T, Yamamoto H, Sone M, Ohmori K, Shimokawara S, Kurihara M and Ohkawa S : Influence of experimental palatal plate on mandibular position during continuous [n] phonation in complete denture wearers. J Meikai Dent Med 39, 65-69, 2010
- 3) Hasuike T, Kusano T, Okutsu F, Matsukawa T, Sone M and Ohkawa S : Development of a Magnetic Rest Clasp Part 2. An Application of a Magnetic Rest Clasp for Porcelain Fused to Metal Crowns. J J Mag Dent 19, 3-9, 2010
- 4) 蓮池敏明, 草野寿之, 奥津史子, 松川高明, 曾根峰世, 大川周治 : Magnetic Rest Clasp の考案 第2報 メタルボンドクラウンへの応用. 日磁歯誌 19(1), 74-80, 2010
- 5) 濱坂弘毅, 曾根峰世, 奥津史子, 草野寿之, 松川高明, 豊田有美子, 根来理沙, 頼近繁, 内田寿乃, 眞木信太郎, 大川周治 : 金属色を遮蔽するクラスプコーティングレジンの開発-第1報 コバルトクロム合金に対する引張せん断接着強さ-. 明海歯学, 40(1), 25-29, 2011
- 6) 山本裕信, 曾根峰世, 森宏樹, 岡根秀明, 大川周治 付加型シリコーンゴム印象材へビーボディタイプを筋圧形成に応用した2症例. 明海歯学, 40(1), 91-96, 2011
- 7) 曾根峰世 : 人歯象牙質の部位による相違が接着性レジンセメントの接着強さに及ぼす影響. 明海歯学, 40(1), 30-38, 2011

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Okutsu F, Kusano T, Matsukawa T, Kurihara M, Sone M and Ohkawa S : A New Sieve Method Using Image Analysis for Evaluating Mastication. The 88th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research, Barcelona, Spain, 2010年7月

2.全国学会

(3) 一般演題

- 1) 山本裕信, 栗原美詠, 下川原忍, 曾根峰世, 奥津史子, 草野寿之, 松川高明, 豊田有美子, 根来理沙, 頼近 繁, 大川周治: ガイド機構を有する新しいゴシックアーチ描記装置の開発. 平成 22 年度日本歯科補綴学会第 119 回学術大会, 東京, 2010 年 6 月
- 2) 下川原忍, 山本裕信, 栗原美詠, 曾根峰世, 奥津史子, 草野寿之, 松川高明, 豊田有美子, 根来理沙, 頼近繁, 屋嘉智彦, 大川周治: パラタルバーの位置が主観的な口腔内感覚に及ぼす影響—経時的変化について—. 平成 22 年度日本歯科補綴学会第 119 回学術大会, 東京, 2010 年 6 月
- 3) 曾根峰世, 奥津史子, 草野寿之, 松川高明, 蓮池敏明, 大川周治: 前歯部ブリッジのポンティックに磁性アタッチメントを応用した 1 症例. 平成 22 年度日本磁気歯科学会第 20 回学術大会, 名古屋, 2010 年 10 月
- 4) 山本裕信, 奥津史子, 草野寿之, 松川高明, 豊田有美子, 根来理沙, 頼近 繁, 濱坂弘毅, 眞木信太郎, 蓮池敏明, 大川周治: ガイド機構を有する新しいゴシックアーチ描記装置とその臨床応用 平成 22 年度日本顎口腔機能学会第 45 回学術大会, 川越, 2010 年 11 月

3.地方会

(3) 一般演題

- 1) 松川高明, 下川原忍, 曾根峰世, 山本裕信, 栗原美詠, 奥津史子, 草野寿之, 豊田有美子, 根来理沙, 頼近繁, 内田寿乃, 濱坂弘毅, 眞木信太郎, 永井泰二, 大川周治: [n]持続発音時の下顎位を応用した垂直的顎間関係記録法について. 平成 22 年度日本補綴歯科学会東関東支部総会・第 14 回学術大会, 水戸, 2011 年 2 月

E.その他,研究会,講演など

- 1) 大川周治: 「チェアサイドで実施可能な咀嚼機能検査法の考案-篩分法への画像解析の応用-」. 平成 22 年度日本補綴歯科学会東関東支部総会・第 14 回学術大会テーブルクリニック, 水戸, 2011 年 2 月

F.研究助成金等の受け入れ

1.文部省科学研究費補助金

- 1) 大川周治: 運動エネルギーを指標とした新しい咀嚼機能評価システムの構築. 基盤研究 (C) (継続)
- 2) 山本裕信: 総義歯製作システムの新機軸—可変式ゴシック床・連結リングライズド人工歯の応用—. 若手研究 (B)

3.宮田研究奨励金 (A) および (D)

- 1) 栗原美詠: 味覚機能に関するスクリーニング検査法の構築. 宮田研究奨励金 (A)

歯科補綴学分野 (Cr.Br)

A. 著書および訳本

1. 著書

- 1) 太田圭二, 窪木卓雄, 太田圭二, 窪木卓雄, 兒玉直樹, 佐久間重光, 高津匡樹, 坪井明人, 成田紀之, 藤澤政紀, 船登雅彦, 前川賢治, 槇原絵里, 松香芳三: 写真でマスターする顎機能治療のためのスプリントのつくり方・使い方. ヒョーロン, 2011

2. 訳本

- 1) 藤澤政紀, 岡本和彦, 岩田健男: 生活歯に対する漂白と粘稠剤がエナメル質の微小硬度に及ぼす影響. *Int J Periodontics Restorative Dent*, 18(3):84-90, 2010
- 2) 藤澤政紀, 武部純, 岩田健男: 審美領域における歯肉バイオタイプの評価: 視覚的方法と直接測定法の比較. *Int J Periodontics Restorative Dent*, 18(4):66-73, 2010
- 3) 藤澤政紀, 岡本和彦, 岩田健男: アバットメントデュプリケーションテクニック: セメント合着可能なインプラント支持による修復装置に関する新しいプロトコール. *Int J Periodontics Restorative Dent*, 17(5):80-89, 2010
- 4) 藤澤政紀, 武部純, 岩田健男: 上下顎歯槽堤の対向関係の分類. *Int J Periodontics Restorative Dent* 17(6):78-84, 2010
- 5) 藤澤政紀, 岡本和彦, 岩田健男: 上顎前歯部における酸蝕症の分類と治療法: ACE分類. *Int J Periodontics Restorative Dent*, 18(1):10-21, 2011
- 6) 藤澤政紀, 猪野照夫, 岩田健男: インプラントの長径、直径および形状が応力分布に及ぼす影響: 有限要素解析. *Int J Periodontics Restorative Dent*, 18(2):80-87, 2010

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 藤澤政紀: 顎関節症から学んだ補綴臨床の注意点 - さまよえる患者を診る, 知る, そしてつくりだすために -. 群馬県歯科医学会雑誌 14:31-36, 2010
- 2) 渡邊 明, 藤澤政紀, 金村清孝, 田邊憲昌, 石橋寛二, 岩瀬直樹, 飯塚知明, 佐藤雅介: ブラキシズム現象の可視化. 可視化情報 30 (1), 151-156, 2010
- 3) 浅野明子, 田邊憲昌, 金村清孝, 武部純, 藤澤政紀, 石橋寛二: 歯学部学生におけるライフスコアと顎機能障害の関係. 日歯教誌, 26-2:189-199, 2010
- 4) 石岡真理絵, 大平千之, 遠藤聡, 伊藤創造, 石橋寛二: オールセラミッククラウンの色調構築に関する検討. 歯冠色グラデーションを表現したセラミックブロックの応用. 歯科審美 23(1), 1-5, 2010
- 5) 岡本和彦, 飯塚知明, 猪野照夫, 岩瀬直樹, 佐藤雅介, 藤澤政紀: ジルコニアに対するセルフアドヒーシブレジンセメントの剪断接着強さ. 日補綴会誌 3, 32-39, 2011
- 6) 飯塚知明, 岩瀬直樹, 岡本和彦, 猪野照夫, 熊瀬名保子, 佐藤雅介, 秋元俊成, 寺田信幸, 藤澤政紀: 下顎位の違いが 3D バーチャル空間における重心動揺に与える影響. 明海歯学 40(1), 39-44, 2011

2. 総説

3. 症例報告

- 1) 金村清孝, 田邊憲昌, 藤澤政紀, 東海林理, 石橋寛二: 開口可能な顎位の維持により関節円板の整位が生じた間欠性ロックの 1 症例. 日顎誌 22(2), 79-83, 2010
- 2) 金村清孝, 田邊憲昌, 浅野明子, 渡邊 明, 石橋寛二: ストレスの関与が疑われた口腔悪習癖への対応. 日歯心身 25(1), 21-25 2010

- 3) 浅野明子, 鈴木守雄, 藤澤政紀, 石橋寛二: 交流分析により改善がみられた舌痛症の1例. 日歯心身 25(2), 66-71 2010

D.学会発表

1.国際学会

(3) 一般演題

- 1) Teruo I, Go S, Kazuhiko O, Naoki I and Fujisawa M : Finite element analysis of the displacement of the maxillary record base for an edentulous patient with a hemimaxillectomy defect. 第9回国際顎顔面補綴歯科学会学術大会 (IMSR), セストリバンテ, イタリア, 2010年5月
- 2) Tomoaki I, Masayuki S, Teruo I and Masanori F : The relationship between bruxism during daytime and sleep. 88th General Session & Exhibition of the IADR, バルセロナ, スペイン, 2010年7月
- 3) Masayuki S, Tomoaki I, Kazuhiko O and Masanori F : Scoring parafunctional EMG events by excluding functional activity 88th General Session & Exhibition of the IADR, バルセロナ, スペイン, 2010年7月
- 4) Fujisawa M, Watanabe A, Kanemura K, Tanabe N, Iizuka T, Sato M, Iwase N and Ishibashi K : Effect of EMG-Biofeedback on Daytime Clenching Behavior in TMD Subjects. 88th General Session & Exhibition of the IADR, バルセロナ, スペイン, 2010年7月

2.全国学会

(3) 一般演題

- 1) 川田 祐, 猪野照夫, 岡本和彦, 岩瀬直樹, 野露浩正, 熊瀬名保子, 川邊崇史, 飯塚 知明, 佐藤雅介, 藤澤政紀: フェルールの有無がコンポジットレジンによる支台築造歯の応力分布に及ぼす影響. 日本歯科補綴学会第119回学術大会, 東京, 2010年6月
- 2) 遠藤 聡, 伊藤創造, 大平千之, 石岡真理絵, 猪又裕美子, 小見憲夫, 畠山康人, 石橋寛二: 新しいCAD/CAM用セラミックブロックの色彩学的検討. 日本歯科補綴学会第119回学術大会, 東京, 2010年6月
- 3) 遠藤 寛, 金村清孝, 田邊憲昌, 渡邊 明, 石橋寛二: 日中に生じるクレンチングは心理的要因に影響を受ける. 日本歯科補綴学会第119回学術大会, 東京, 2010年6月
- 5) 山田優貴, 遠藤 寛, 金井佐知子, 金村清孝, 田邊憲昌, 渡邊 明, 藤澤政紀, 石橋寛二: バスケットボール競技中と日常生活環境下における咬筋筋活動の比較. 第21回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 福岡, 2010年7月
- 6) 渡邊 明, 藤澤政紀, 金村清孝, 田邊憲昌, 石橋寛二, 岩瀬直樹, 飯塚知明, 佐藤雅介: ブラキシズム現象の可視化. 第38回日本可視化情報学会シンポジウム, 東京, 2010年7月
- 7) 田邊憲昌, 遠藤 寛, 金村清孝, 渡邊 明, 浅野明子, 石橋寛二, 金井佐知子, 齊藤章人, 山田優貴: 日中のクレンチングに関する患者の自覚の信頼性について, 第23

回日本顎関節学会学術大会，東京，2010年7月

- 8) 横山典子，石岡真理絵，猪又裕美子，遠藤 聡，大平千之，照井崇之，浅野明子，伊藤創造，石橋寛二：加齢に伴う天然歯の色空間について．第21回日本歯科審美学会学術大会，八幡平，2010年8月
- 9) 飯塚知明：日中のクレンチングと夜間睡眠時ブラキシズムの相関．平成22年度明海歯科医学，坂戸，2010年10月
- 10) 渡邊 明，藤澤政紀，金村清孝，田邊憲昌，飯塚知明，佐藤雅介，岩瀬直樹，石橋寛二：咀嚼筋筋電図バイオフィードバック（EMG-BF）訓練による日中のクレンチング抑制効果—1ヶ月後における学習効果の検討—．第45回日本顎口腔機能学会学術大会，川越，2010年11月

3. 地方会

(3) 一般演題

- 1) 松香芳三，永尾寛，木村彩，三野卓哉，荒川光，藤澤政紀，小野高裕，玉置勝司，津賀一弘，築山能大，萩原芳幸，窪木拓男：ガイドライン作成に向けたペイシェント・クエスションの収集 その2 患者インタビュー．平成22年度日本補綴歯科学会中国四国支部学術大会，高松，2010年8月
- 2) 木村彩，松香芳三，三野卓哉，荒川光，藤澤政紀，小野高裕，玉置勝司，津賀一弘，築山能大，永尾寛，萩原芳幸，窪木拓男：ガイドライン作成に向けたペイシェント・クエスションの収集 その1 患者アンケート．平成22年度日本補綴歯科学会中国四国支部学術大会，高松，2010年8月
- 3) 野露浩正，猪野照夫，佐藤雅介，飯塚知明，熊瀬名保子，川邊崇史，岡本和彦，岩瀬直樹，遠藤 聡，渡邊 明，川田 祐，浅田綾介，阿部早織，廣川琢哉，藤澤政紀：荷重下における歯根表面の多点ひずみ解析 - 築造材料とフェルールの有無による比較 - ．平成22年度第14回日本補綴歯科学会東関東支部学術大会・総会，水戸，2011年2月

E. その他, 研究会, 講演など

- 1) 岡本和彦：インプラント補綴における印象用コーピングの形態の差異が印象精度に及ぼす影響について．平成22年度明海歯科医学，坂戸，2010年6月
- 2) 野露浩正：支台築造歯の歯根表面における多点ひずみ解析．平成22年度明海歯科医学，坂戸，2010年6月
- 3) 遠藤 聡：口腔内写真撮影の基礎とテクニック．スタディーグループ寛歩会，盛岡，2010年6月
- 4) 藤澤政紀：「可逆的補綴治療 -さまよえる患者を診る、知る、そしてつくりたくないために-」：明海大学アメリカンフットボールOB会学術講演会，坂戸，2010年7月
- 5) 岡本和彦：「ルーペを通してみる歯科治療の世界」—ルーペの選択と応用—．第2回川越市学術勉強会，川越，2010年9月
- 6) 藤澤政紀：「解き明かされる顎機能の謎」．石橋寛二教授開講30周年記念講演会，盛岡，2010年10月

- 7) 藤澤政紀：「日常臨床で遭遇するさまよえる患者への対応 -顎関節症患者から学んだ補綴臨床-」. 埼玉県比企郡市歯科医師会平成 22 年度第 1 回学術講演会, 東松山, 2010 年 11 月
- 8) 野露浩正：荷重下における歯根表面の多点ひずみ解析—築造材料ならびにフェルールの有無による比較—. 平成 22 年度明海歯科医学, 坂戸, 2010 年 12 月
- 9) 猪野照夫：支台築造歯の破折に影響する要素および歯根破折を減少させるために. 平成 22 年度千葉県支部学術講演会, 千葉, 2010 年 12 月
- 10) 藤澤政紀：「簡易精神療法を踏まえた可逆的補綴治療」. 平成 22 年度群馬県歯科医師会学術講演会, 前橋, 2011 年 2 月

F. 研究助成金等の受け入れ

1. 文部省科学研究費補助金

- 1) 藤澤政紀：「バーチャル空間におけるストレス負荷時の咀嚼筋筋活動状態とそのセルフコントロール」. 平成 21 年度科学研究費補助金基盤 C (20592276), 2010

3. 宮田研究奨励金 (A) および (D)

- 1) 渡邊明：「日中のクレンチング発生状況と夜間のブラキシズム発生状況の関連性」. 宮田奨励金 A, 2010

保存修復学分野

A. 著書および訳本

1. 著書

- 1) 田上順次, 千田 彰, 奈良陽一郎, 桃井保子, 片山直 : 保存修復学 2 1 第4版.
永末書店, 東京, 103-109, 2011

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Iwasaka K, Tomita K, Ozawa Y, Katayama T and Sakagami H. : Effect of CO2 laser irradiation on hormesis induction in cultured oral cells. In Vivo. Jan-Feb;25(1):93-98, 2011
- 2) Kazuo Fujieda, Tadashi Katayama : Cognitive Impairment in Elderly Mountaineers . Jpn J Mountain Med, 30(1) : 189-193, 2011
- 3) 矢島晃司, 松見秀之, 小澤有美, 岩坂憲助, 片山 直 : 可変調レーザーシステムにおける歯硬組織切削. 明海歯学, 40(1), 45-54 2011
- 4) Patricia Gonzalez-Alva, Harumi Inoue, Yuji Miyazaki, Hozumi Tsuchiya, Yoshihiro Noguchi, Kentaro Kikuchi, Fumio Ide, Sachiyoshi Ishihara, Tadashi Katayama, Hideaki Sakashita and Kaoru Kusama : Podoplanin expression in odontomas: clinicopathological study and immunohistochemical analysis of 86 case. Journal of Oral Science 53(1), 67-75, 2011
- 5) 小澤有美, 富田佳代子, 奥岡徹, 片山直 : 淡黄色票上での光重合方コンポジットレジンの色の基礎的研究. 歯の色彩, 17(1), 18-23, 2011
- 6) 小澤有美 : 光重合型コンポジットレジンの背景色遮蔽効果の基礎的実験—積層したコンポジットレジンの明度に及ぼす影響—. 日歯保誌, 53(6), 549-561, 2010

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) H. SAKAGAMI, K. IWASAKA, S. ISHIHARA, T. KATAYAMA, M. ONO, K. KANTOH, H. WAKABAYASHI, H. KUMADA, and N. HAMADA : Quest for anti-inflammatory substances using IL-1 β -stimulated human gingival fibroblasts. IADR/AADR 88th General Session, Barcelona, Spain, 2010 年 7 月
- 2) T. KATAYAMA, Y. OZAWA, E. HENMI, N. YANAGAWA, and S. ISHIHARA : Colorimetric Evaluation of Resin Composites on Various Gray Backgrounds. IADR/AADR 88th General Session, Barcelona, Spain, 2010 年 7 月
- 3) Y. ICHIMURA, I. KATAYAMA and T. KATAYAMA : Changes in salivary components following acupuncture. ICMART XIV World Congress on Medical Acupuncture, Riga, 2010 年 5 月

2.全国学会

(3) 一般演題

- 1) 逸見恵里, 小澤有美, 安永慎, 山田晶子, 石原祥世, 片山直: 臼歯部用コンポジットレジンの積層法の色について. 第 132 回特定非営利活動法人日本歯科保存学会学術大会, 熊本, 2010 年 6 月
- 2) 奥岡徹, 石原祥世, 岩坂憲助, 中村英世, 市村葉, 片山直: 新規レジンの積層における各種条件での色. 第 132 回特定非営利活動法人日本歯科保存学会学術大会, 熊本, 2010 年 6 月
- 3) 小澤有美, 奥岡徹, 富田佳代子, 石原祥世, 片山直: 天然歯の平均的な色の上での光重合型コンポジットレジンの色について. 第 133 回特定非営利活動法人日本歯科保存学会学術大会, 岐阜, 2010 年 10 月

3.地方会

(1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 市村 葉: 認定医のための講習会. 日本歯科東洋医学会第 28 回学術大会, 奥羽大学, 2010 年 11 月

(2) シンポジウム

- 1) 市村 葉: 口腔領域における LLLT. 第 22 回日本レーザー治療学会, 横浜, 2010 年 6 月

(3) 一般演題

- 1) 富田佳代子, 小澤有美, 奥岡徹, 片山直: 淡黄色背景が光重合方コンポジットレジンの彩度に与える影響について. 第 18 回日本歯科色彩学会 総会・学術大会, 2010 年 7 月
- 2) 岩坂 憲助: 培養ヒト歯根膜由来線維芽細胞の増殖に及ぼす CO₂ レーザー照射のホルメシス効果. 明海歯科医学会第 11 回学術大会, 埼玉 2010 年 6 月
- 3) 市村 葉, 片山伊九右衛門, 竹下 玲, 岡田嘉代, 安井利一, 片山 直: ツボ刺激を応用した口腔乾燥症へのアプローチ. 日本歯科東洋医学会第 28 回学術大会, 奥羽大学, 2010 年 11 月

F.研究助成金等の受け入れ

1.文部省科学研究費補助金

- 1) 片山直, 石原祥世, 岩坂憲助: 自己由来増殖因子による歯髄幹細胞の増殖および分化誘導活性の解析とその意義 (基盤研究 C)

3.宮田研究奨励金 (A)

- 1) 岩坂 憲助: 炭酸ガスレーザーを用いた組織再生療法の開発に関する基礎研究

歯内療法学分野

A. 著書および訳本

1. 著書

- 1) 小林健二, 中村裕子, 小谷依子, 高橋哲哉, 呉 崇史, 小此木雄, 牛込瑛子, 関根 慧, 橋島弓子: 歯内療法学実習書, リュウワ印刷, 埼玉, 2010年11月

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Contreras RG, Vilchis JR, Sakagami H, Nakamura Y, Nakamura Y, Hibino Y, Nakajima H, Shimada J: Type of cell death induced by seven metals in cultured mouse osteoblastic cells. In Vivo 24, 507-512, 2010
- 2) Kantoh K, Ono M, Nakamura Y, Nakamura Y, Hashimoto K, Sakagami H, Wakabayashi H: Hormetic and anti-radiation effects of tropolone-related compounds. In Vivo 24, 843-851, 2010

C. その他の刊行物

- 1) 中村裕子: 歯内療法学分野におけるパーフェクトペリオの応用 根管洗浄剤としての可能性を探る. 日本歯科評論 70, 47-53, 2010
- 2) 中村裕子, 関根 慧, 高橋哲哉: 電解機能水の歯内治療への応用. 日本歯科理工学会誌 30, 9-12, 2011

D. 学会発表

2. 全国学会

(2) シンポジウム

- 1) 中村裕子: 次亜塩素酸電解水の歯内療法学分野での展望 中性電解機能水の可能性を探る. 日本歯科保存学会 2010年春季学術大会(第132回), 熊本 2010年6月

(3) 一般演題

- 1) 中村裕子: 根尖部歯周病変への抗菌剤ドラッグデリバリーシステムの開発. 明海歯科医学会第11回学術大会, 埼玉, 2010年6月
- 2) 小谷依子, 小林健二, 中村裕子, 高橋哲哉, 中村幸生: 受傷後に Transient Apical Breakdown(TAB)を生じたと考えられる1症例. 日本歯内療学会 2010年学術大会(第31回), 東京, 2010年7月
- 3) 高橋哲哉, 牛込瑛子, 小林健二, 呉 崇史, 中村幸生: 薬液を応用した NiTi ファイル破折片の除去に関する研究. 腐食した ProTaper の3次元表示による観察. 日本歯科保存学会 2010年春季学術大会(第132回), 熊本, 2010年6月
- 4) 高橋哲哉, 小谷依子, 呉 崇史, 中村幸生: 新たな根管照射用レーザーマニピュレーターの開発. 日本歯科保存学会 2010年秋季学術大会(第133回), 岐阜, 2010年10月

F. 研究助成金等の受け入れ

1. 文部省科学研究費補助金

- 1) 小谷依子：根管形成用レーザーマニピュレーターの開発. 若手研究(B)
- 2) 高橋哲哉：根管内破折したニッケルチタンファイルを腐食させることで除去を容易にする方法の確立. 若手研究(B)

オーラル・リハビリテーション学分野

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 溝部健一, 荒木久生: スクリュータイプインプラントにおける顎部骨吸収の経時的臨床評価. 明海歯学誌, 40, 1, 1-5, 2011

2. 総説

- 1) 荒木久生: 目からウロコのパーフェクト治療ガイド F バニッシュ歯科用 5%. 歯界展望第 116 巻第 4 号 611 ページ, 2010

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 谷本博則, 荒木久生: 上顎前歯部に対するオールセラミッククラウンの応用. 第 28 回日本顎咬合学会学術大会, 東京, 2010 年 6 月
- 2) 石川 健, 荒木久生: 臼歯保護を目的として犬歯の補綴を行った一症例. 第 28 回日本顎咬合学会学術大会, 東京, 2010 年 6 月
- 3) 生方真人, 荒木久生: 上顎前歯に対し外科的歯内療法および補綴を行った一症例. 第 28 回日本顎咬合学会学術大会, 東京, 2010 年 6 月
- 4) 長谷川雄一, 溝部健一, 荒木久生: クロスマウント法を用いて補綴治療を行った一症例, 第 28 回日本顎咬合学会学術大会, 2010 年 6 月
- 5) 北風新平, 溝部健一, 荒木久生: 上顎両側中切歯欠損症例に対するインプラント治療のアプローチ. 第 28 回日本顎咬合学会学術大会, 東京, 2010 年 6 月
- 6) 山本英史, 川邊好弘, 荒木久生: 安定した咬合接触を得るためにインプラント治療を行った一症例: 第 28 回日本顎咬合学会学術大会, 東京, 2010 年 6 月
- 7) 松田 哲, 溝部健一, 川邊好弘, 荒木久生: メンテナンス性を考慮し付着歯肉の獲得を行った一症例. 第 53 回日本日本歯周病学会秋季学術大会, 高松, 2010 年 9 月
- 8) 竹下玲, 末続真弓, 広瀬公治, 高野安紀子, 福浦えり子, 高橋明子, 流石千佳, 上田知恵, 松本勝, 清水良昭, 下島孝裕, 荒木久生, 安井利一: 単球様細胞への分化能を有する M1 細胞のアポトーシスに関する *Porphyromonas gingivalis* 線毛の阻害機構の解析. 第 59 回日本口腔衛生学会総会, 新潟, 2010 年 10 月

E. その他, 研究会, 講演など

- 1) 根本 聡: ダイレクトボンディングを用いて歯冠修復を行った一症例. 第 31 回 PDI 研修医症例報告会&特別講演, 東京, 2011 年 3 月
- 2) 島田成章: オフィスホワイトニングを行った一症例 (TiON オフィスを用いて). 第 31 回 PDI 研修医症例報告会&特別講演, 東京, 2011 年 3 月
- 3) 鏡 智雄: プロビジョナルレストレーションを介した歯科医師と技工士のコラボレーシ

- ョン. 第 31 回 PDI 研修医症例報告会&特別講演, 東京, 2011 年 3 月
- 4) 伊藤正樹: 上顎左右中切歯にラミネートベニア修復を行った一症例.. 第 31 回 PDI 研修医症例報告会&特別講演, 東京, 2011 年 3 月
 - 5) 阿部真子: 全部床義歯補綴の一症例 (1). 第 31 回 PDI 研修医症例報告会&特別講演, 東京, 2011 年 3 月
 - 6) 伊藤善治: 全部床義歯補綴の一症例 (2). 第 31 回 PDI 研修医症例報告会&特別講演, 東京, 2011 年 3 月
 - 7) 笹川貴史: 歯周基本治療において側方運動のガイダンスを付与した一症例. 第 31 回 PDI 研修医症例報告会&特別講演, 東京, 2011 年 3 月
 - 8) 宮崎 啓: 咬合性外傷に対する治療指針ー削合調整を応用した一症例ー. 第 31 回 PDI 研修医症例報告会&特別講演, 東京, 2011 年 3 月
 - 9) 大島拓也: 生物学的幅径を考慮し矯正的挺出を行った一症例. 第 31 回 PDI 研修医症例報告会&特別講演, 東京, 2011 年 3 月
 - 10) 若菜 健弘: すれ違い咬合症例に対する咬合再構成. 第 31 回 PDI 研修医症例報告会&特別講演, 東京, 2011 年 3 月
 - 11) 本木 萌洋: 上顎前歯部補綴におけるプロビジョナルレストレーションの役割ープライマリー&ファイナルプロビジョナルレストレーションの応用ー. 第 31 回 PDI 研修医症例報告会&特別講演, 東京, 2011 年 3 月

基礎物理学分野

C.その他の刊行物

- 1) 山田英彦, 田村典洋, 石原真理子, 稲葉明美: 明海大学歯学部 物理学・生物学・化学
(総合化学実験 P4-53 分担) (有)リュウワ印刷 (埼玉) 2010 年 9 月
- 2) 代居 敬, 山田英彦, 河合泰輔: 歯科放射線学サイドリーダー第 5 版 (P2-129 分担), 学
建書院 2010 年 7 月

病態診断治療学講座

病 理 学 分 野

薬 理 学 分 野

総合口腔診断学分野

歯科放射線学分野

口腔顎顔面外科学分野 1

口腔顎顔面外科学分野 2

病理学分野

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Gonzalez-Alva P, Kikuchi K, Miyazaki Y, Okamoto E, Oku Y, Tsuchiya H, Noguchi Y, Sakashita H, Ide F and Kusama K : Expression of heparanase: a possible role in invasiveness and aggressive clinical behavior of ameloblastomas. *J Oral Sci* 52 (1), 2010
- 2) Ide F, Kikuchi K and Kusama K: Is papillary synovial metaplasia-like change a hitherto undescribed histologic pattern of lip mucoceles? *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod* 109(6), 2010
- 3) 岡本英里, Gonzalez-Alva Patricia, 柳下治男, 菅原良和, 奥 結香, 田中章夫, 菊池建太郎, 坂下英明, 草間 薫 : 角化嚢胞性歯原性腫瘍における臨床病理学的・免疫組織学的検討. *小児口腔外科* 20 (1), 2010
- 4) 田中章夫, 宮崎裕司, 吉澤 大, 井上ハルミ, 菊池建太郎, 草間 薫 : 口腔扁平上皮癌における epithelial-mesenchymal transition 関連分子の検討. *Hosp Dent (Tokyo)* 22 (1), 2010
- 5) Tanaka A, Miyazaki Y, Yosizawa D, Inoue H, Kikuchi K, and Kusama K : A study on epithelial-mesenchymal transition factors in oral squamous cell carcinoma. *Hospital Dentistry & Oral-Maxillofacial Surgery* 22, 2010
- 6) Ide F, Mishima K, Yamada H, Kikuchi K, Saito I and Kusama K: Intraosseous ameloblastoma with a prominent extraosseous component: pitfalls in diagnosis. *Head Neck Pathol* 4(3), 2010
- 7) Kato T, Horie N, Hashimoto K, Satoh K, Shimoyama T, Kaneko T, Kusama K and Sakagami H : Effect of itraconazoles on the production of pro-inflammatory substances in mouse macrophage-like cells. *In Vivo* 24(5), 2010
- 8) Ishige T, Kikuchi K, Miyazaki Y, Hara H, Yoshino A, Terui T, Katayama Y, Kusama K and Nemoto N : Differentiation and apoptosis in pilomatrixoma. *Am J Dermatopathol* 33 (1), 2011
- 9) Ide F, Mishima K, Kikuchi K, Horie N, Yamachika S, Satomura K, Shimoyama T, Sakashita T, Saito I and Kusama K: Development and growth of adenomatoid odontogenic tumor related to formation and eruption of teeth. *Head and Neck Pathol* (Epub ahead of print), 2011

2. 総説

- 1) 草間 薫 : 歯周病と口腔癌の進展 ～最近の知見から～. *日本歯科医師会雑誌* 63(7), 2010
- 2) 宮崎裕司, 草間 薫: 特集 口腔内細菌の全身疾患への関わり. *化学療法の領域* 27(1),

2011

3.症例報告

- 1) Ide F, Kikuchi K, Kusama K and Kanazawa H : Sialadenoma papilliferum with potentially malignant features. J Clin Pathol 63(4), 2010
- 2) 鈴木 円, 田中章夫, 菊池建太郎, 草間 薫, 鈴木正二, 坂下英明: 7歳男児に生じた猫ひっかき病の1例. 小児口腔外科 20(1), 2010
- 3) Kikuchi K, Miyazaki Y, Tanaka A, Shigematu H, Kojima M, Sakashita H and Kusama K: Methotrexate-Related Epstein-Barr Virus (EBV)-Associated Lymphoproliferative Disorder-so-called "Hodgkin-Like Lesion"-of the oral cavity in a patient with rheumatoid arthritis. Head and Neck Pathol (Epub ahead of print), 2010
- 4) Tanaka A, Shigematsu H, Kikuchi K, Inoue K, Ide F, Hasegawa A, Kusama K and Sakashita H: Metastatic tumor of the mandible from occult gallbladder cancer : A case report. Asian J Oral and Maxillofacial Surgery 22, 2010
- 5) Ide F, Kikuchi K, Miyazaki Y, Mishima K, Saito I and Kusama K: Keratocyst of the buccal mucosa : is it odontogenic? Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod 110(5), 2010

D.学会発表

1.国際学会

(3) 一般演題

- 1) Gonzalez-Alva P, Kikuchi K, Miyazaki Y, Okamoto E, Sakashita H, Ide F and Kusama K : Immunohistochemical profile of peripheral ameloblastomas. The 88th General Session & Exhibition of the IADR, the Centre Convencions Internacional Barcelona (CCIB), Barcelona, Spain, 2010年7月

2.全国学会

(3) 一般演題

- 1) 菊池建太郎, 井上ハルミ, Gonzalez-Alva Patricia, 宮崎裕司, 岡本英里, 井出文雄, 草間薫: 石灰化嚢胞性歯原性腫瘍における Podoplanin 発現とその意義. 第99回日本病理学会総会. 東京, 2010年4月
- 2) 田中章夫, 星野 都, 井上勝元, 岡本英里, 菊池建太郎, 鈴木正二, 坂下英明 : 短期間に口腔粘膜の6か所から発生した多発癌の1例. 第64回日本口腔科学会. 札幌市, 2010年6月
- 3) Gonzalez-Alva P, 井上ハルミ, 宮崎裕司, 菊池建太郎, 草間 薫 : The expression of invasion-related molecules and its relation with the progression of ameloblastomas. 第52回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会. 東京, 2010年9月
- 4) 堀江憲夫, 橋本 研, 下山哲夫, 加藤崇雄, 金子忠良, 草間 薫, 坂上 宏 : 唾液の抗菌作用に及ぼす立効散について. 第52回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会, 東京, 2010年9月

- 5) 加藤崇雄, 堀江憲夫, 橋本 研, 金子忠良, 下山哲夫, 草間 薫, 坂上 宏: ヒドロキシイトラコナゾールの口腔内細菌の増殖に及ぼす影響. 第 52 回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会, 東京, 2010 年 9 月
- 6) 菊池建太郎, 井上ハルミ, Gonzalez-Alva Patricia, 宮崎裕司, 田中章夫, 重松久夫井出文雄, 山内雅司, 坂下英夫, 草間 薫: リュウマチ性関節炎患者の口腔内に生じた MTX 関連リンパ増殖症. 第 21 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会, 大阪, 2010 年 7 月
- 7) 宮崎裕司, 井上ハルミ, 菊池建太郎, Gonzalez-Alva Patricia, 山内雅司, 落合邦康, 草間 薫: 口腔癌進展における HPV および歯周病の関与について. 第 47 回日本消化器免疫学会総会, 滋賀, 2010 年 7 月
- 8) 井上ハルミ, Gonzalez-Alva Patricia, 宮崎裕司, 菊池建太郎, 草間 薫: 口腔顎顔面領域における腫瘍および腫瘍状病変に関する研究 - Intravascular papillary endothelial hyperplasia について -. 明海歯科医学会第 12 回学術大会, 埼玉, 2010 年 10 月
- 9) 福田正勝, 井上勝元, 鈴木正二, 草間 薫, 坂下英明: 口腔扁平上皮癌における p33ING4b の発現とその役割について. 第 55 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉, 2010 年 10 月

F. 研究助成金等の受け入れ

3. 宮田研究奨励金 (A) および (D)
- 1) 菊池建太郎: 宮田研究奨励金 (A): 前癌病変および口腔扁平上皮癌における進展と微小環境に関する臨床病理学的検討.

齒科薬理学分野

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Orabi MA, Taniguchi S, Yoshimura M, Yoshida T, Kishino K, Sakagami H and Hatano T : Hydrolyzable tannins of tamaricaceous plants III. New Hellinoyl- and macrocyclic-type ellagitannins from *Tamarix nilotica*. *J Nat Prod* 73: 870-879, 2010
- 2) Kuroshita R, Amano S, Takahashi S, Sakagami H, Ohmori Y and Watanabe S : Relation between counts of periodontopathic bacteria in the tongue coat of healthy subjects and the concentration of volatile sulfur compounds in their breath. *Pediatric Dent J* 20: 57-64, 2010
- 3) Kawano M, Thet MM, Makino T, Kushida T and Sakagami H : DNA microarray analysis of signaling pathway in macrophages stimulated by lignin-carbohydrate complex from *Lentinus edodes* mycelia extract (L·E·M). *Anticancer Res* 30, 2567-2576, 2010
- 4) Kawano M, Sakagami H, Satoh K, Shioda S, Kanamoto T, Terakubo S, and Nakashima H and Makino T : Lignin-like Activity of *Lentinus edodes* mycelia Extract (L·E·M) . *In Vivo* 24: 543-552, 2010
- 5) Garcia R, Adachi K, Yokote Y, Sakagami H, Hibino Y, Nakajima H and Shimada J : Quantification of enhanced osteoblastic adhesion to ultraviolet treated titanium plate. *In Vivo* 24: 519-524, 2010
- 6) Garcia Contreras R, Scougall Vilchis JS, Sakagami H, Nakamura Y, Nakamura Y, Hibino Y, Nakajima H and Shimada J : Type of cell death induced by seven metals in cultured mouse osteoblastic cells. *In Vivo* 24: 507-512, 2010
- 7) Garcia R, Sakagami H, Nakajima H and Shimada J : Type of cell death induced by various metal cations in cultured human gingival fibroblasts. *In Vivo* 24: 513-518, 2010
- 8) Maki J, Sekiya H, Nishioka R, Sakagami H, Kuwada M and Tamai E : Extended inclusion of medical parasitology in the education in school of pharmacy, Matsuyama University. *Jpn J Soc Pharm* 29 (1), 31-39, 2010
- 9) Hasegawa H, Kido S, Tomomura M, Fujimoto K, Ohi M, Kiyomura M, Kanagae H, Inaba A, Sakagami H and Tomomura A : Serum calcium-decreasing factor, caldecrin, inhibits osteoclast differentiation by suppression of NFATc1 activity : *J Biol Chem* 285 (33): 25448-25457, 2010
- 10) Pati HN, Das U, Sakagami H, Kawase M, Chu Q, Wang Q, Stables JP and Dimmock JR : 1, 3-Diaryl-2-propenones and 2-benzylidene-1, 3-indandiones: A quest for compounds displaying greater toxicity to neoplasms than normal cells. *Archiv der Pharmazie (Weinheim)* 343(9):535-541, 2010
- 11) Kato T, Horie N, Hashimoto K, Satoh K, Shimoyama T, Kakeno T, Kusama K and Sakagami H : Effect of itraconazoles on the production of pro-inflammatory substances in mouse macrophage-like cells. *In Vivo* 24: 709-714, 2010
- 12) Sakagami H, Zhou Li, Kawano M, Thet MM, Takana S, Machino M, Amano S,

- Kuroshita R, Watanabe S, Chu Q, Wang QT, Kanamoto T, Terakubo S, Nakashima H, Sekine K, Shirataki Y, Hao ZC, Uesawa Y, Mohri K, Kitajima M, Oizumi H and Oizumi T : Multiple biological complex of alkaline extract of the leaves of *Sasa senanensis* Rehder. *In Vivo* 24: 735-744, 2010, 2010
- 13) Adachi K, Shimizu K, Hu JW, Suzuki I, Sakagami H, Koshikawa N, Sessle BJ, Shinoda M, Miyamoto M, Honda K and Iwata K : Purinergic receptors are involved in tooth-pulp evoked nocifensive behavior and brainstem neuronal activity. *Mol Pain*. 2010 Sep 22;6(1):59. [Epub ahead of print], 2010
 - 14) Mimaki Y, Matsuo Y, Watanabe K and Sakagami H : Furostanol glycosides from the rhizomes of *Helleborus orientalis*. *J Nat Med* 64(4):452-459, 2010
 - 15) Cheung FWK, Che CT, Sakagami H, Kochi M and Liu WK : Sodium 5, 6-benzylidene-L-ascorbate induces oxidative stress, autophagy and growth arrest in human colon cancer HT-29 cells. *Journal of Cellular Biochemistry* 111: 412-424, 2010
 - 16) Nishiyama A, Yokote Y and Sakagami H : Changes in amino acid metabolism during activation of mouse macrophage-like cell lines. *In Vivo* 24: 857-860, 2010
 - 17) Tanaka S, Machino M, Akita S, Yokote Y and Sakagami H : Changes in salivary amino acid composition during aging. *In Vivo* 24: 853-856, 2010
 - 18) Nakamura Y, Kodama H, Satoh T, Adachi K, Watanabe S, Yokote Y and Sakagami H : Diurnal changes in salivary amino acid concentrations . *In Vivo* 24: 837-842, 2010
 - 19) Kantoh K, Ono M, Nakamura Y, Nakamura Y, Hashimoto K, Sakagami H and Wakabayashi H : Hormetic and anti-radiation effects of tropolone-related compounds. *In Vivo* 24: 843-852, 2010
 - 20) Das S, Das U, Sakagami H, Hashimoto K, Kawase M, Gorecki DK and Dimmock JR : Sequential cytotoxicity: a theory examined using a series of 3 , 5-bis(benzylidene)-1-diethylphosphono-4-oxopiperidines and related phosphonic acids . *Bioorg Med Chem Lett* 20:6464-6468, 2010
 - 21) Ariyoshi-Kishino K, Hashimoto, K, Amano O, Kochi M and Sakagami H : Tumor-specific cytotoxicity and type of cell death induced by benzaldehyde. *Anticancer Res* 30: 5069-5076, 2010
 - 22) Iwasaka K, Tomita K, Ozawa Y, Katayama T and Sakagami H : Effect of CO2 laser irradiation on hormesis induction in cultured oral cells . *In Vivo* 25, 93-98, 2011
 - 23) Ueki J, Shimada A, Sakagami H and Wakabayashi H : Hormetic and UV-protective effects of azulene-related compounds. *In Vivo* 25: 41-48, 2011
 - 24) 渡邊 悟, 星野浩子, 篠原尚子, 中村 渡, 坂上 宏 : 桑の実ジュースの成分と飲料開発. *東京聖栄大学紀要* 第3号, 13-18, 2011
 - 25) J itsuno M, Yokosuka A, Hashimoto K, Amano O, Sakagami H and Mimaki Y : Chemical constituents of *Lycoris albiflora* and their cytotoxic activities *Natural Product Communications* 6, 187-192, 2011
 - 26) Ishihara M, Wakabayashi H, Motohashi N and Sakagami H : Quantitative

- structure-cytotoxicity relationship of newly synthesized trihaloacetylazulenes determined by a semiempirical molecular-orbital method (PM5). *Anticancer Res* 31: 515-520, 2011
- 27) Sakagami H, Kawano M, May Maw Thet, Hashimoto K, Satoh K, Kanamoto T, Terakubo S, Nakashima H, Haishima Y, Maeda Y and Sakurai K : Anti-HIV and immunomodulation activities of cacao mass lignin carbohydrate complex. *In Vivo* 25: 229-236, 2011
- 28) Tomomura M, Fujii T, Sakagami H and Tomomura A : Serum calcium-decreasing factor, caldecrin, ameliorates muscular dystrophy in dy/dy mice. *In Vivo* 25, 157-164, 2011

2.総説

- 1) Sakagami H: Apoptosis-inducing activity and tumor-specificity of antitumor agents against oral squamous cell carcinoma. *Japanese Dental Science Review* 46: 173-187, 2010
- 2) Avivi-Arber L, Lee J-C, Yao D, Adachi K and Sessle BJ : Neuroplasticity of face sensorimotor cortex and implications for control of orofacial movements. *Japanese Dental Science Review*, Volume 46, Issue 2, August 2010, Pages 132-142, 2010
- 3) Sakagami H, Kushida T, Oizumi T and Makino T : Distribution of lignin carbohydrate complex in plant kingdom and its functionality as alternative medicine. *Pharmacology & Therapeutics* 128: 91-105, 2010

C.その他の刊行物

- 1) Maki J, Sekiya H, Nishioka R, Tamai E, Kuwada M and Sakagami H : A fundamental study for the development of chemotherapeutic agents targeted at one of the intractable nematodes of international importance (note). *松山大学論文集*第 22 卷 6 号, 107-115, 2011
- 2) 坂上 宏, 草間 薫 : 明海大学歯学部における国際交流, 留学生受け入れにみる歯科の国際連携 11 回. *日本歯科評論* 70(5):174-175, 2010
- 3) 牧 純, 増野 仁, 郡司良夫, 坂上 宏, 桑田正広, 西岡麗奈, 関谷洋志, 玉井栄治 : 薬学史の時代区分に関する研究(1)―「信心」と「信仰」による別府温泉利用の古代医療誌を通じた史的考究―. *松山大学論文集*第 22 卷 5 号, 195-209, 2010
- 4) 坂上 宏, 前田裕一, 桜井孝治 カカオマスリグニン配糖体の新しい機能性を求めて. *New Food Industry* 53: 1-10, 2011
- 5) 坂上 宏, 植木淳一, 島田亜希, 小野真那巳, 菅藤歌織, 若林英嗣, 南部俊之, 嶋田 淳, 牧 純, 山本正次, 北嶋まどか, 大泉浩史, 大泉高明, 牧野 徹 : 抗酸化剤および植物抽出液の紫外線に対する細胞保護作用. *New Food Industry* 53: 11-19, 2011
- 6) 牧 純, 増野 仁, 郡司良夫, 坂上 宏, 桑田正広, 菅野裕子, 西岡麗奈, 関谷洋志, 玉井栄治 : 加持祈祷に頼るしかなかった日本のマラリア感染. *愛媛県病薬会誌通巻* 108, 17-21, 2011
- 7) 坂上 宏, 田島雅道, 安達一典, 橋本研ら、解る歯科薬理学 第 2 版第 2 刷, 学研書院, 2011 年 3 月

D.学会発表

1.国際学会

(3) 一般演題

- 1) Kishino K, Tamura N, Hashimoto K, Amano O, Shimada J, Sakagami H and Kochi M: Biological significance of autophagy induction by benzaldehyde in OSCC. 88th General Session & Exhibition of the IADR, Barcelona, 2010年7月
- 2) Tamura N, Kishino K, Hirano K, Kobayashi M, Hashimoto K, Amano O, Shimada J and Sakagami H: Induction of autophagy by SN-38 in OSCC cells. 88th General Session & Exhibition of the IADR, Barcelona, 2010年7月
- 3) Uchida S, Ohno S, Kobayashi K, Kishino K, Hashimoto K, Sakagami H and Nagasaka H: Induction of non-apoptotic cell death by adrenergic agonists in OSCC. 88th General Session & Exhibition of the IADR, Barcelona, 2010年7月
- 4) Sakagami H, Iwasaka K, Ishihara S, Katayama T, Ono M, Kantoh K, Wakabayashi H, Kumada H and Hamada N: Quest for anti-inflammatory substances using IL-1 β -stimulated gingival fibroblasts, 88th General Session & Exhibition of the IADR, Barcelona, 2010年7月
- 5) Ishihara M and Sakagami H: Relationship between descriptors and cytotoxicity of newly synthesized trihaloacetylazulenes against OSCC. 88th General Session & Exhibition of the IADR, Barcelona, 2010年7月
- 6) Hashimoto K and Sakagami H: Role of DNase γ in cisplatin-induced apoptosis of OSCC. 88th General Session & Exhibition of the IADR, Barcelona, 2010年7月
- 7) Tamura N, Kishino K, Hirano K, Kobayashi M, Hashimoto K, Amano O, Shimada J and Sakagami H: TEM analysis of type of cell death induced by SN-38 in OSCC. 88th General Session & Exhibition of the IADR, Barcelona, 2010年7月
- 8) Garcia Contreras R, Scougall Vilchis RJ, Sakagami H, Nakajima H, Shimada J, Nakamura Y, Nakamura Y and Hibino Y: Tipo de Muerte celular inducida por siete metales en cultivo de celulas osteoblasticas de ratón. 第18回メキシコ歯科学会(第9回イベリコーアメリカン歯科学会との共催), オアハカ市, メキシコ, 2010年11月

2.全国学会

(2) シンポジウム

- 1) 坂上 宏, 齋島由二, 熊田秀文, 浜田信城: リグニン配糖体のシグナル伝達経路に及ぼすLPS汚染の問題. 第19回内毒素・LPS研究会, 横浜, 2010年6月
- 2) 坂上 宏: カカオ豆由来リグニン配糖体の新たな活性を求めて. 第15回チョコレート・ココア国際栄養シンポジウム招待講演, 経団連会館, 東京, 2010年9月
- 3) 坂上 宏: リグニン配糖体の機能: 植物分布, 抗ウイルス活性, 免疫担当細胞に対する作用. 第10回日本臨床中医薬学会学術大会招待講演, 富山, 2010年9月
- 4) 坂上 宏: 代替医療としてのリグニン配糖体の機能性. 第28回日本歯科東洋医学

(3) 一般演題

- 1) 安達一典：顎口腔領域への侵害刺激が中枢神経機能変化に及ぼす影響．明海歯科医学会第11回学術大会，埼玉，2010年6月
- 2) 田村希，岸野香織，平野久美，橋本研，坂上宏，嶋田淳：イリノテカン代謝産物 SN-38 によるヒト口腔扁平上皮癌細胞のアポトーシスおよびオートファジーの誘導．第51回歯科基礎医学会，船堀，2010年9月
- 3) 加藤崇雄，堀江 憲夫，橋本 研，金子 忠良，下山 哲夫，草間 薫，坂上 宏：ヒドロキシトラコナゾールの口腔内細菌の増殖に及ぼす影響．第51回歯科基礎医学会，船堀，2010年9月
- 4) 平野久美，田村希，坂上宏，嶋田淳：ヒト口腔扁平上皮癌細胞を標的とした SN-38 併用療法に関する基礎研究．第51回歯科基礎医学会，船堀，2010年9月
- 5) 坂上宏，メイ・モウ・テツ，河野みち代，友村美根子，友村明人，櫛田達矢，牧野徹：マウスマクロファージにおけるシイタケ菌糸体由来リグニン配糖体のシグナル伝達経路の DNA マイクロアレー解析．第51回歯科基礎医学会，船堀，2010年9月
- 6) 田中 庄二，渡部 茂，町野 守，安達一典，坂上 宏：加齢に伴う唾液アミノ酸組成変化．第51回歯科基礎医学会，船堀，2010年9月
- 7) 田島雅道，坂上 宏：血管内皮細胞機能に対するビスホフホネートの作用．第51回歯科基礎医学会，船堀，2010年9月
- 8) 南部俊之，佐藤和恵，坂上宏，嶋田淳：紫外線照射による口腔癌細胞死の誘導とビタミンCの保護効果．第51回歯科基礎医学会，船堀，2010年9月
- 9) 堀江 憲夫，橋本 研，下山 哲夫，加藤崇雄，金子 忠良，草間 薫，坂上 宏：唾液の抗菌作用に及ぼす立効散の影響について．第51回歯科基礎医学会，船堀，2010年9月
- 10) 内田茂則，大野聖加，小林克江，坂上 宏，長坂 浩：アドレナリン作用薬と Desmedetomidine によってヒト口腔扁平上皮癌細胞に誘導される細胞死の検討．第38回日本歯科麻酔学会総会・学術大会，横須賀，2010年10月
- 11) 高田直樹，高松紗耶子，保科修平，荻原孝子，村上幸生，町野 守，橋本 研，坂上 宏：ハプトブロビンの顎関節症マーカーとしての可能性．第55回日本口腔外科学会，東京，2010年10月
- 12) 實野真希，横須賀人，三巻祥浩，橋本 研，天野 修，坂上 宏：ヒガンバナ科植物 *Habranthus brachyandrus* および *Lycoris albiflora* の化学成分と細胞毒性に関する研究(6)．第18回天然薬物の開発と応用プログラム「薬学における生薬・漢方の未来を考える」，東京，2010年 10月
- 13) 保科修平，坂上 宏，高泰浩，町野 守：歯科用薬物の正常口腔細胞に対する傷害性に基づく安全性の確認 第2報．第29回日本口腔腫瘍学会，熊本，2011年1月

- 14) 増田裕子, 上田純也, 田村雅史, 坂上宏, 友村美根子, 友村明人, 白瀧義明, Marie Noel: 'Velano' バルブ抽出物の生理活性について. 日本薬学会第 131 回年会, 静岡, 2011 年 3 月"
- 15) 坂上 宏, 松田友彦, メイ・モウ・テツ, 北嶋まどか, 大泉 浩史, 大泉 高明: クマザサ葉アルカリ抽出液は, IL-1 β で活性化されたヒト歯肉線維芽細胞による炎症性サイトカインの産生を抑制する. 第 84 回日本薬理学会年, 横浜, 2011 年 3 月
- 16) 松田友彦, メイ・モウ・テツ, 坂上 宏, 佐藤和恵, 中島秀喜, 金本大成, 寺久保繁美, 北嶋まどか, 大泉 浩史, 大泉 高明: クマザサ葉由来ルテオリン配糖体の生物活性. 第 84 回日本薬理学会年, 横浜, 2011 年 3 月
- 17) メイ・モウ・テツ, 河野みち代, 松田友彦, 坂上 宏, 友村明人, 友村美根子, 榎田達矢, 牧野 徹: シイタケ菌糸体培地培養エキス(LEM)リグニン配糖体による Dectin-2 受容体シグナル経路の活性化. 第 84 回日本薬理学会年, 横浜, 2011 年 3 月
- 18) 實野 真季, 横須賀 章人, 三巻 祥浩, 橋本 研, 天野 修, 坂上 宏: ヒガンバナ科植物 *Habranthus brachyandrus* および *Lycoris albiflora* の化学成分と細胞毒性活性について (7). 日本薬学会第 131 回年会, 静岡, 2011 年 3 月
- 19) 田島雅道, 坂上 宏: ビスホスホネートによる血管内皮細胞傷害の機序について. 第 84 回日本薬理学会年, 横浜, 2011 年 3 月
- 20) 坂上 宏, 有吉香織, 橋本 研, 天野 修, 齋藤 潤, 東風陸之: ヒト口腔扁平上皮癌細胞の増殖に及ぼす benzylidene ascorbate と化学療法薬の併用効果. 第 84 回日本薬理学会年, 横浜, 2011 年 3 月
- 21) 安達一典, 小林真之, 川崎俊之, 横山ちひろ, 坂上 宏, 尾上浩隆, 越川憲明: ヘミパーキンソンモデルサルスの咀嚼運動特性. 第 84 回日本薬理学会年, 横浜, 2011 年 3 月
- 22) 北嶋まどか, メイ・モウ・テツ, 松田友彦, 坂上 宏, 山本正次, 大泉 浩史, 大泉 高明, 牧野 徹: リグニン配糖体を含む植物抽出液の紫外線に対する細胞保護作用. 第 84 回日本薬理学会年, 横浜, 2011 年 3 月
- 23) 小川 卓也, 波多野 力, 坂上 宏, 竹内 靖雄: 抗腫瘍作用を有する人工タンニンの合成. 日本薬学会第 131 回年会, 静岡, 2011 年 3 月
- 24) 堀井春香, 上田純也, 田村雅史, 坂上宏, 友村美根子, 友村明人, 白瀧義明: 白鶴霊芝の成分と生理活性について. 日本薬学会第 131 回年会, 静岡, 2011 年 3 月

E. その他, 研究会, 講演など

- 1) Kazunori Adachi, Masayuki Kobayashi, Hiroshi Sakagami, Atsushi Yoshida and Noriaki Koshikawa: Physiological features of pyramidal cells in insular cortex of rat determined by in vivo whole-cell patch clamp recording. 第 4 回 三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会, 2010 年 11 月

F. 研究助成金等の受け入れ

1. 文部省科学研究費補助金

- 1) 長坂 浩 (代表)、坂上 宏 (分担) 麻酔薬の各種悪性腫瘍細胞に対するオートファジー誘導活性、基盤研究 C, 2010 年
- 2) 波多野力 (代表)、坂上 宏 (分担) 機能性食品中の腫瘍細胞への作用物質としてのポリフェノールの研究、基盤研究 C, 2010 年
- 3) 安達一典 (代表) 全動物パッチクランプ記録法による島皮質特性とネットワークの解析、若手研究 B, 2010 年

3. 宮田研究奨励金 (A) および (D)

- 1) 安達一典、宮田研究奨励金 (A)、顎口腔領域への侵害刺激が島皮質神経活動性へ及ぼす影響への扁桃体の関与、2010 年

総合口腔診断学分野

A. 著書および訳本

1. 著書

- 1) Hiroshi Sakagami, Li Zhou, Michiyo Kawano, May Maw Thet, Shoji Tanaka, Mamoru Machino, Shigeru Amano, Reina Kuroshita, Shigeru Watanabe, Qing Chu, Qin-Tao Wang, Taisei Kanamoto, Shigeru Terakubo, Hideki Nakashima, Keisuke Sekine, Yoshiaki Shirataki, Chang-Hao Zhang, Yoshihiro Uesawa, Kiminori Mohri, Madoka Kitajima, Hiroshi Oizumi and Takaaki Oizumi : Multiple biological complex of Alkaline extract of the leaves of *Sasa senanensis* rehder. *In vivo* , 24, 735-744. 2010年6月

B. 学術論文

3. 症例報告

- 1) 高 泰浩, 石井浩明, 高田直樹, 荻原孝子, 高松紗耶子, 町野 守 : 小児の口腔内に現れたリンパ上皮性嚢胞の1例. *日本口腔診断学会雑誌* 23, 2, 269-273, 2010年

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 高 泰浩, 関勇哉, 高松紗耶子, 保科修平, 村上幸生, 町野 守 : 舌中央部に発現したケラトアkantoma様腫瘍の1症例. 第23回日本口腔診断学会, 松戸, 2010年5月
- 2) 田中庄二, 新居智恵, 秋田 紗世子, 村上幸生, 町野 守 : 母子別の歯肉縁上および縁下プラーク中の歯周病原細菌の検出率. 第48回日本小児歯科学会, 名古屋, 2010年5月
- 3) 新居智恵, 俵木 勉, 町野 守, 重田浩貴, 村井宏隆, 高田直樹, 矢島理恵, 三浦麻里江, 石井菜摘 : 歯科用鎮痛・鎮静剤(メソボル液)を用いた歯肉着色の改善. 第28回日本顎咬合学会, 東京, 2010年6月
- 4) 重田浩貴, 町野 守, 俵木 勉, 高田直樹, 新居智恵, 村井宏隆, 江守亜紀代, 青木美絵, 本橋のぞみ, 青木かすみ : CTを用いた下歯槽管の終末の走行形態の観察. 第28回日本顎咬合学会, 東京, 2010年6月
- 5) 関勇哉, 高松紗耶子, 津田靖子, 宇津木千鶴, 松田光悦, 町野 守 : 乳癌からの多発性転移症例に対して放射線治療後に顎骨壊死を生じた1症例, 第44回日本口腔科学会関東地方部会, 東京, 2010年9月
- 6) 田中庄二, 渡部 茂, 町野 守, 安達一典, 坂上 宏 : 加齢に伴う唾液アミノ酸組成変化. 第52回歯科基礎医学会, 東京, 2010年9月
- 7) 高田直樹, 高松紗耶子, 保科修平, 荻原孝子, 村上幸生, 町野 守, 橋本 研, 坂上 宏 : ハプトグロビンの顎関節症マーカーとしての可能性. 第55回日本口腔外科学会, 千葉, 2010年10月
- 8) 村上幸生, 高田直樹, 保科修平, 荻原孝子, 高松紗耶子, 津田靖子, 町野 守 : メ

ラトニンは *Porphyromonas gingivalis* 線毛誘導性 COX-2 発言を抑制する. 第 55 回日本口腔外科学会, 千葉, 2010 年 10 月

9) 田中庄二, 秋田 紗世子, 池下久登, 小口寛子, 渡部 茂, 町野 守: 小児年齢における歯周病原細菌の検出頻度, 第 7 回日本子ども学会, 川越, 2010 年 10 月

E. その他, 研究会, 講演など

1) 荻原孝子, 村上幸生, 町野 守: 臨床研修歯科医の実態調査. 第 3 回総合歯科協議会, 北九州, 2010 年 11 月

F. 研究助成金等の受け入れ

1. 文部省科学研究費補助金

1) 岡田典久: 光照射によるフェノール系抗酸化剤の癌細胞への影響. 基盤研究(C)

歯科放射線学分野

A. 著書および訳本

1. 著書

- 1) 金田 隆, 奥村泰彦, 佐野 司, 清水谷公成, 小豆島正典, 田口 明, 土持 眞, 中山英二, 本田和也, 森本泰宏, 湯浅賢治: Chapter2 放射線の発生と装置. In: Q & A で学ぶ歯科放射線学: SBOs 講義, p.7-28(共書 学建書院 東京), 2011
- 2) 奥村泰彦, 高橋伸年, 井上信行, 小澤智宣, 沼田真美, 印南 永, 小宅麗来, 小泉伸秀, 大高祐聖, 流石麻由: 2010 年度歯科放射線学実習張. p.1-48, (共書リュウワ印刷 埼玉) 2010
- 3) 石田隆行, 掛川茂彦, 藤田広志, 奥村泰彦, 他: 第4章 歯科用デジタル X 線画像診断システム. In: 医用画像ハンドブック, p.1287-1324 (共書 オーム社 東京) 2010
- 4) 高橋伸年: エックス線撮影の読影(1)パノラマ断層撮影の原理. No.540 埼玉歯科医師会. 埼玉だより, pp.17-21, 2010
- 5) 奥村泰彦, 高橋伸年, 井上信行, 小澤智宣, 沼田真美, 印南 永, 小宅麗来, 小泉伸秀, 大高祐聖, 流石麻由: 2010 年度歯科放射線学実習張, p.1-48 (共書 リュウワ印刷 埼玉) 2010
- 6) 高橋伸年: エックス線撮影の読影(2)パノラマ断層撮影写真の正常解剖. No.541 埼玉歯科医師会, 埼玉だより, pp.44-49. 2010
- 7) 高橋伸年: エックス線撮影の読影(3)エックス線診断(上顎洞疾患). No.542 埼玉歯科医師会, 埼玉だより, pp.24-30, 2011

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 権 宅成, 沼田真美, 大高祐聖, 流石麻由, 奥村泰彦: 顎関節症における下顎運動の定量解析. 明海歯科医学, 40 卷 1 号 Page6-13, 2011
- 2) 鈴木弘平, 小泉伸秀, 大高祐聖, 流石麻由, 奥村泰彦: Computer Radiology の画像特性に関する研究. 明海歯科医学, 40 卷 1 号, Page14-24, 2011

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Tomonori Ozawa, Yusei Otaka, Mayu Sasuga, Nobutoshi Takahashi and Yasuhiko Okumura: Evaluated the diagnostic accuracy of clinical signs in 20's volunteers to male and female by magnetic resonance imaging. The 8th Asian Congress of Oral and Maxillo-Facial Radiology, Seoul, Korea, 2010 年 11 月
- 2) Mami Numata, Hisashi Innami, Fumi Yamaaki and Yasuhiko Okumura: Developmental Analysis of Ethmoidal Sinus Employing Sagittal CT Scan. 86th

European Orthodontic Society, Ljubljana, Slovenia, 2010年6月

- 3) Reira Oyake, Yuki Shinohara, Nobuhide Koizumi and Yasuhiko Okumura :
Developmental Analysis of Mandibular Fossa Circumference Employing Sagittal
CT Scan Images. 86th European Orthodontic Society, Ljubljana , Slovenia,
2010年6月

2.全国学会

(3) 一般演題

- 1) 小澤智宣, 篠原勇輝, 流石麻由, 井上信行, 奥村泰彦 : 顎関節診断装置の開発に
関する研究. 日本歯科放射線学会第51回学術大会, 横浜, 2010年5月
- 2) 沼田真美, 小宅麗来, 小澤智宣, 奥村泰彦 : 顎関節症に伴う顎運動軌跡の定量
的診断法の開発. 日本歯科放射線学会第51回学術大会, 横浜, 2010年5月
- 3) 小宅麗来, 沼田真美, 山秋 史, 奥村泰彦 : 下顎窩周囲の成長発育における CT 像
による解析. 日本歯科放射線学会第51回学術大会, 横浜, 2010年5月
- 4) 大高祐聖, 流石麻由, 木村直人, 小宅麗来, 沼田真美, 植松紳一郎, 奥村泰彦 :
埋伏下顎小臼歯における顎骨内移動を長期観察した症例. 日本歯科放射線学会 第
15回臨床画像大会, 鹿児島, 2010年9月
- 5) 小泉伸秀, 印南 永, 大高祐聖, 高橋伸年, 奥村泰彦 : Computer Radiology の画像
特性に関する研究. 日本歯科放射線学会第51回学術大会, 横浜, 2010 年5
月
- 6) 印南 永 : 低磁場 MRI における顎関節撮像の物理的特性と位置依存性. 明海歯科医
学会第13回学術大会, 坂戸, 2010年12月
- 7) 小宅麗来 : 下顎窩周囲の成長発育における CT 像解析. 明海歯科医学会第13回学
術大会, 坂戸, 2010年12月
- 8) 篠原勇輝 : 下顎骨梁構造の画像形成に関する評価. -口腔内フィルム, IP, CCD の
違いによる影響-. 明海歯科医学会第13回学術大会, 坂戸, 2010年12月
- 9) 山秋 史 : 顎関節診断装置の開発に関する研究. 明海歯科医学会第13回学術大会,
坂戸, 2010年12月

3.地方会

(3) 一般演題

- 1) 印南 永, 小澤智宣, 重松久夫, 奥村泰彦 : 開口障害を伴う左側下顎骨前枝部に遠
隔転移をきたした肺癌の一例. 日本歯科放射線学会第211回関東地方会・第30回
北日本地方会第18回合同地方会, 札幌, 2010年 8月

E.その他, 研究会, 講演など

- 1) 奥村泰彦 : 明海大学歯学部における教育改革—教育が変わると大学は変わるのか—.
2010年度日本大学歯学部第1回FD講習会, 東京, 2010年12月

口腔顎顔面外科学分野

A. 著書および訳本

1. 著書

- 1) 嶋田淳、池田善彦編著：デンタルムービー超入門. クインテッセンス出版、東京、72-85頁, 2011年1月

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Onuki H, Sakagami H, Kobayashi M, Hibino Y, Yokote Y, Nakajima H and Shimada J: Effect of contact with titanium alloys on the proliferation of mouse osteoblastic cells in culture. *In Vivo*. 24(1):29-37, 2010
- 2) Nallar SC, Kalakonda S, Sun P, Ohmori Y, Hiroi M, Mori K, Lindner DJ, and Kalvakolanu DV. : Identification of a Structural Motif in the Tumor-Suppressive Protein GRIM-19 Required for Its Antitumor Activity. *The American Journal of Pathology* 177(2):p.896-907, 2010
- 3) 田村 希, 森 一将, 小貫 裕之, 田村 暢章, 関根 真一, 原口 茂樹, 嶋田 淳 : 白板症における上皮性異形成の臨床病理組織学的検討. *明海歯科医学* 39(2), p.70-74, 2010
- 4) 田草川 徹 : ビーグル犬下顎骨における垂直的歯槽骨延長術の実験的研究. *日本顎顔面インプラント学会誌*第9巻4号, 2010
- 5) Contreras RG, Adachi K, Yokote Y, Sakagami H, Hibino Y, Nakajima H and Shimada J : Quantification of enhanced osteoblastic adhesion to ultraviolet-treated titanium plate. *In Vivo*. 2010 Jul-Aug;24(4):519-23.
- 6) Contreras RG, Sakagami H, Nakajima H and Shimada J : Type of cell death induced by various metal cations in cultured human gingival fibroblasts. *In Vivo*. 2010 Jul-Aug;24(4):513-7.
- 7) Contreras RG, Vilchis JR, Sakagami H, Nakamura Y, Nakamura Y, Hibino Y, Nakajima H and Shimada J : Type of cell death induced by seven metals in cultured mouse osteoblastic cells. *In Vivo*. 2010 Jul-Aug;24(4):507-12.

3. 症例報告

- 1) Kazumasa Mori, Nozomi Tamura, Nobuaki Tamura and Jun Shimada: Botryoid odontogenic cyst: A case report with immunohistochemical aspects. *Asian Journal of Oral and Maxillofacial Surgery* Volume 23, issue 1, 31-34, 2011
- 2) 田村 暢章 : 先天性欠如部にインプラントを用いて口腔の機能回復を行った1症例. *日本口腔インプラント学会誌*, 第23巻 第3号, p.635-636, 2010年
- 3) 田村 希, 森 一将, 田村 暢章, 龍田 恒康, 嶋田 淳 : 舌下腺に発生した腺様嚢胞癌の1例. *日本口腔診断学会雑誌* 23(2):p.264-268, 2010

- 4) 前川雄哉, 田草川徹, 南部俊之, 金川修一郎, 嶋田淳: 下顎骨高位を走行する下顎管に近接した埋伏智歯の抜去の1例 日本口腔診断学会誌. 第24巻第1号, 2011
- 5) 田村 暢章, 森 一将, 岩橋 由佳子, 田村 希, 原口茂樹, 武田順天, 嶋田 淳: 上顎洞内を占拠した巨大な歯根嚢胞の1例. 日本口腔診断学会雑誌, 23(1): 85-88, 2010年

4.短報

C.その他の刊行物

- 1) 森 一将: 知って得する医療保険制度の基礎知識と診療情報 診療情報—レセプトの基本. DH style 4, 46, 2010年7月
- 2) 森 一将: 知って得する医療保険制度の基礎知識と診療情報 カルテの基本を知る 1. DH style 4, 47, 2010年8月
- 3) 森 一将: 知って得する医療保険制度の基礎知識と診療情報 カルテの基本を知る 2. DH style 4, 48, 2010年9月
- 4) 森 一将: 知って得する医療保険制度の基礎知識と診療情報 口腔外科病棟の診療情報. DH style 4, 51, 2010年11月
- 5) 森 一将: 知って得する医療保険制度の基礎知識と診療情報 歯科技工指示書、院外処方箋. DH style 4, 52, 2010年12月
- 6) 森 一将, 矢崎恵子, 並木一郎: 知って得する医療保険制度の基礎知識と診療情報 歯科衛生士の皆様への期待. DH style 5, 53, 2011年1月
- 7) 嶋田淳: 院内感染防止予防を踏まえたインプラント関連器材の術前準備. クインテッセンスデンタルインプラントロジー, vol17, No1, 128-135, 2010年4月
- 8) 嶋田淳: 院内感染予防を踏まえたインプラント手術環境の準備 . クインテッセンスデンタルインプラントロジー, vol17, No.2, 114-123, 2010年6月
- 9) 嶋田淳: 院内感染予防を踏まえた術中・術後の器具・手術環境の適切な管理. クインテッセンスデンタルインプラントロジー, vol17, No.3, 120-125, 2010年8月
- 10) 嶋田淳: Piezo Electric Device を用いた下歯槽神経損傷を防止する下顎枝矢状分割法. 日本歯科評論, vol71, 1, 123-134, 2011年1月
- 11) 嶋田淳: Piezo Electric Device を用いた最小粘膜切開による上顎骨骨切り術 日本歯科評論, vol71, 2, 97-105, 2011年2月

D.学会発表

1.国際学会

(3) 一般演題

- 1) Nobuaki Tamura and Jun Shimada : Evaluation of Serial Bone Quality on CT after Sinus Floor Augmentation with Autogenous bone (AGB) and Beta Tricalcium Phosphate (β -TCP). VIII World Congress on Oral Implantology (第8回国際口腔インプラント会議), Le Meridien Hotel; New Delhi, India, 2010年11月

2.全国学会

(1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 嶋田淳：顎顔面外傷と力学 日本外傷歯学会認定医研修会，東京都，2010年4月
- 2) 嶋田淳：サイナスリフトー注意点と術式ー 第40日本口腔インプラント学会学術大会、札幌市，2010年10月
- 3) 嶋田淳：PiezoSurgeryを用いた下歯槽神経損傷を防止する下顎枝矢状分割法。 第55回日本口腔外科学会総会・学術大会 2010年10月
- 4) 嶋田淳：PiezoSurgeryを用いた下歯槽神経損傷を防止する下顎枝矢状分割法。 第14回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会，明海大学；千葉県浦安市，2010年12月
- 5) 嶋田淳：Piezo Surgeryによる骨移植・上顎洞底挙上術：ライブオペ。 第28回日本顎咬合学会，東京都，2010年6月
- 6) 龍田恒康：歯科治療時における全身的考慮とその実際。 第28回日本顎咬合学会学術大会・総会，東京都，東京国際フォーラム，2010年6月

(2) シンポジウム

- 1) Jun SHIMADA：Minimum Invasive Procedure for Sinus Lifting to Prevent Schneiderian Membrane Rupture. VIII World Congress on Oral Implantology (第8回国際口腔インプラント会議)， Le Meridien Hotel; New Delhi, India, 2010年11月
- 2) 嶋田淳：血液 Growth Factor の臨床 特に GBR とインプラントへの応用。 国際血液生体材料臨床応用会議，2011年2月

(3) 一般演題

- 1) 吉川秀明，田草川徹，竹島浩，嶋田淳，藤田昌樹，吉川正芳，松井成幸，鐘ヶ江晴秀，長坂浩：進行性下顎骨吸収症を伴う患者に上下顎移動術を施行1ヶ月後，重症筋無力症を発症した1症例。 第20回日本顎変形症学会総会，札幌プリンスホテル国際館パミール；北海道札幌市，2010年5月
- 2) 森 一将：口腔扁平上皮癌細胞における転写因子 STAT3 の発現と活性化。 第11回明海歯科医学会学術大会，明海大学；埼玉県坂戸市，2010年6月
- 3) 森 一将，田村 暢章，田村 希，龍田 恒康，嶋田 淳：上唇に発生した乳頭状嚢腺癌の1例。 第64回日本口腔科学会学術集会，札幌プリンスホテル国際館パミール；北海道札幌市，2010年6月
- 4) 田村 希，福永 秀一，森 一将，田村 暢章，前川 雄哉，吉田 亜矢，嶋田 淳：口腔粘膜に限局して発生した水疱性類天疱瘡の1例。 第64回日本口腔科学会学術集会，札幌プリンスホテル国際館パミール；北海道札幌市，2010年6月
- 5) 田村 暢章，森 一将，後藤 英之，嶋田 淳：下顎歯槽骨に発生した基底細胞型エナメル上皮腫の1例。 第64回日本口腔科学会学術集会，札幌プリンスホテル国際館パミール；北海道札幌市，2010年6月
- 6) 宮入 貴昭，岩橋由佳子，葦沢 健，嶋田 淳：上唇に発生した verrucous carcinoma に口唇再建を行った1例。 第64回日本口腔科学会学術集会，札幌プリンスホテル国際館

パミール；北海道札幌市，2010年6月

- 7) 嶋田 淳：副鼻腔の体積と表面積に関する研究．第64回日本口腔科学会学術集会，札幌プリンスホテル国際館パミール；北海道札幌市，2010年6月
- 8) 森 一将，廣井美紀，嶋田 淳，大森喜弘：口腔扁平上皮癌における腫瘍関連 M2 マクロファージの局在．第52回歯科基礎医学会学術大会，タワーホール船堀；東京都江戸川区，2010年9月
- 9) 田村 希，岸野 香織，平野久美，嶋田 淳，坂上宏 イリノテカン代謝産物 SN-38 によるヒト口腔扁平上皮癌細胞のアポトーシスおよびオートファージの誘導．第52回歯科基礎医学会学術大会，タワーホール船堀；東京都江戸川区，2010年9月
- 10) 平野久美，田村 希，坂上宏，嶋田 淳：ヒト口腔扁平上皮癌細胞を標的とした SN-38 へ併用療法に関する基礎研究．第52回歯科基礎医学会学術大会，タワーホール船堀；東京都江戸川区，2010年9月
- 11) 南部俊之，坂上宏：紫外線照射による口腔癌細胞死の誘導とビタミンCの保護効果．第52回歯科基礎医学会学術大会，タワーホール船堀；東京都江戸川区，2010年9月
- 12) 田村 暢章，竹島 浩，別府 祐次，鈴木 玲爾，嶋田 淳：インプラント撤去16症例の臨床的検討．第40回日本口腔インプラント学会学術大会，札幌コンベンションセンター・札幌市産業振興センター；北海道札幌市，2010年9月
- 13) 森 一将，吉田 亜矢，田村 希，小貫 裕之，田村 暢章，龍田 恒康，嶋田 淳，並木 一郎：脂腺分化が認められた顎下腺 Basal cell adenocarcinoma の1例．第55回日本口腔外科学会総会・学術大会，幕張メッセ；千葉県千葉市，2010年10月
- 14) 田草川 徹，吉川 秀明，前川 雄哉，佐々木 妥啓，関根 真一，田村 暢章，森 一将，龍田 恒康，竹島 浩，嶋田 淳：BRONJを発症し，同部に原発腫瘍の口腔内転移を認めた1例．第55回日本口腔外科学会総会・学術大会，幕張メッセ；千葉県千葉市，2010年10月
- 15) 後藤 英之，田草川 徹，大原 正太郎，松山 博康，山田 遼，荻野 未来，小貫 裕之，田村 暢章，森 一将，龍田 恒康，竹島 浩，嶋田 淳：リフティングドリルを使用した Sinus lift (crestal approach) の一例．第14回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会，明海大学；千葉県浦安市，2010年12月
- 16) 鈴木 崇夫，田村 暢章，別府 祐次，大原 正太郎，松山 博康，山田 遼，荻野 未来，小貫 裕之，田草川 徹，森 一将，龍田 恒康，竹島 浩，嶋田 淳：インプラント撤去21症例の臨床的検討．第14回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会，明海大学；千葉県浦安市，2010年12月

3. 地方会

(3) 一般演題

- 1) 山田遼，田草川徹，吉川秀明，前川雄哉，打矢五月，佐々木妥啓，田村暢章，関根真一，森 一将，龍田恒康，竹島 浩，嶋田 淳：BRONJを発症し、同部に原発腫瘍の口腔内転移を認めた1例．平成22年度埼玉県歯科医学大会，彩の国すこやかプラザ；埼玉県さいたま市，2010年3年

- 2) 別府祐次, 田草川徹, 吉川秀明, 小林真彦, 平野久美, 鈴木崇夫, 後藤英之, 田村暢章, 森一将, 田島徹, 龍田恒康, 竹島浩, 嶋田淳: Piezo surgery を用いた全上下顎同時移動術. 第 44 回日本口腔科学会関東地方部会, 明海大学; 千葉県浦安市, 2010 年 9 月
- 3) 鈴木 崇夫, 田村 暢章, 別府 祐次, 大原 正太郎, 松山 博康, 山田 遼, 荻野 未来, 小貫 裕之, 田草川 徹, 森 一将, 龍田 恒康, 竹島 浩, 嶋田 淳: 撤去に至ったインプラント体の臨床的検討. 平成 22 年度埼玉県歯科医学大会, 彩の国すこやかプラザ; 埼玉県さいたま市, 2011 年 2 月
- 4) 後藤 英之, 田草川 徹, 打矢 五月, 小貫 裕之, 関根 真一, 池田 善彦, 田村 暢章, 森 一将, 龍田 恒康, 竹島 浩, 嶋田 淳: 交通外傷により, 高度歯槽骨欠損をきたした患者に対し垂直的歯槽骨延長術により歯槽骨再建を行った 1 例. 平成 22 年度埼玉県歯科医学大会, 彩の国すこやかプラザ; 埼玉県さいたま市, 2011 年 2 月

E. その他, 研究会, 講演など

- 1) 嶋田淳: 抜歯術とその合併症対策 北埼玉郡市学術講演会. 行田市, 2010 年 7 月
- 2) 嶋田淳: インプラント学基礎から最近 群馬県歯科医師会学術講演会, 高崎市, 2010 年 9 月
- 3) 嶋田淳: ANKYLOS の外科的工夫、外科総論、他社比較. デンツプライ三金講演会, Tissue core road show, 東京都, 2010 年 10 月
- 4) 嶋田淳: 外科的基礎知識としての各種臨床検査、全身管理とインプラント治療. 埼玉インプラント研究会日本口腔インプラント学会認定研修会, 2010 年 11 月
- 5) 龍田恒康: 歯科治療と全身管理. 平成 22 年度東部三支部学術講演会, 安芸室戸支部, 香美香南支部, 土長南国支部, 高知県南国市, 2010 年 6 月
- 6) 嶋田 淳, 龍田 恒康: インプラント手術のための全身管理. 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修プログラム、第 1 回 I C O I フェローシップ養成コース, 東京都新宿区, 2010 年 6 月
- 7) 龍田恒康: 歯科治療と全身管理. 平成 22 年度 PDI 埼玉歯科診療所研修会、埼玉県入間市, 2010 年 6 月
- 8) 嶋田 淳、龍田 恒康: インプラント手術のための全身管理. 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修プログラム、第 1 回 I C O I フェローシップ養成コース, 東京都新宿区, 2010 年 6 月
- 9) 嶋田 淳、龍田 恒康: インプラント手術のための全身管理. 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修プログラム、第 2 回 I C O I フェローシップ養成コース、東京都新宿区, 2010 年 10 月
- 10) 龍田恒康: 障害者の特性と障害者に対する歯科治療. 本庄市児玉郡歯科医師会平成 22 年度学術研修会, 2011 年 3 月

F. 研究助成金等の受け入れ

1. 文部省科学研究費補助金

- 1) 森 一将: 基盤研究 (C) 課題番号 80372902, 新規アポトーシス制御因子 GRIM-19 の

発現制御機構の解析, 2010 年

口腔顎顔面外科学分野 2

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 岡本英里, Patricia Gonzalez Alva, 柳下治男, 菅原良和, 奥 結香, 田中章夫, 菊池建太郎, 坂下英明, 草間 薫: 角化嚢胞性歯原性腫瘍における臨床病理学的, 免疫組織学的検討. 小児口外, 20(1)22-36, 2010
- 2) FUKUDA Masakatsu, INOUE Katuyuki, SUGAWARA Yoshikazu, YAGISITA Haruo and SAKASHITA Hideaki: Implication of p53R2 Disappearance in Human Squamous Cell Carcinoma of the Oral Cavity. HOSPITAL DENTISTRY & Oral Maxillofacial Surgery, 22(1) 3-8, 2010
- 3) MASAKATSU FUKUDA, MASAHIRO EHARA, SEIJI SUZUKI, YOSHIHIRO OHMORI and HIDEAKI SAKASHITA: IL-23 promotes growth and proliferation in human squamous cell carcinoma of the oral cavity, International Journal of Oncology 36 (6), 2010
- 4) 村上文登, 金子浩巳, 根岸垂矢子, 大井 迪, 長谷川紘也, 桃井知子, 真野樹子, 重松久夫, 横塚裕二, 坂下英明, 鐘ヶ江晴秀: 習慣性齦症を有する片側性唇顎口蓋裂児の成長発育と顎顔面および気道形態との関連性について. 明海歯科医学, 39(2)59-64, 2010
- 5) 横塚裕二, 重松久夫, 坂下英明: 口腔領域の癌を中心とした言語聴覚士の役割—当科大学付属病院におけるリハビリテーションの現状—. 茨城県総合リハビリテーションケア学会誌, 16:7-15, 2010

2. 総説

- 1) 坂下英明, 重松久夫: 片側性唇顎口蓋裂の初回形成術. 小児口外, 20(1)13-21, 2010
- 2) 坂下英明, 重松久夫: 咽頭弁移植術, 小児口外, 20(2) 154-160, 2010

3. 症例報告

- 1) 福山裕子, 鈴木正二, 星野 都, 井上勝元, 福田正勝, 坂下英明: 先天性第Ⅶ因子欠乏症の抜歯経験. 有病者歯科医療, 19(1)33-37, 2010
- 2) 福山裕子, 鈴木正二, 長谷川彰彦, 田中眞也, 井上勝元, 坂下英明: 術前心電図で頻発する二段脈を認めた症例. 有病者歯科医療, 19(1)39-44, 2010
- 3) 鏑木正秋, 重松久夫, 馬越誠之, 渡辺容子, 長谷川彰彦, 坂下英明: Bartter 症候群患者における口腔外科手術の周術期管理を行った 1 例. 小児口外, 20(1)58-64, 2010
- 4) Akio Tanaka, Hisao Shigematsu, Katsuyuki Inoue, Fumio Ide, Akihiko Hasegawa, Kaoru Kusama and Hideaki Sakashita: Metastatic Tumor in the Mandible from Occult Gallbladder Cancer A Case Report. Asian Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, 22(3) 168-171, 2010
- 5) 鈴木 円, 田中章夫, 菊池建太郎, 草間 薫, 鈴木正二, 坂下英明: 7 歳児に生じた猫引っかき病の 1 例. 小児口外, 20(1)54-57, 2010
- 6) 鈴木 円, 田中章夫, 岡本英里, 柳下治男, 菅原良和, 草間 薫, 坂下英明: 副耳下腺に生じた多形腺腫の 1 例. Hospital Dentistry & Oral-Maxillofacial Surgery, 22:129-132, 2010
- 7) 田中章夫, 馬越誠之, 須賀則幸, 井上勝元, 菊池建太郎, 坂下英明: 上顎洞に進展した細胞性神経鞘腫の 1 例. 日口外誌, 56(12)350-353, 2010
- 8) 星野 都, 重松久夫, 細川恵一, 堀 智一, 奥 結香, 鈴木正二, 坂下英明: 硬化療

- 法を施行した顎下型ラヌーラの1例. 小児口外, 20(2) in press, 2010
- 9) Kikuchi K, Miyazaki Y, Tanaka A, Shigematsu H, Kojima M, Sakashita H and Kusama K : Methotrexate-Related Epstein-Barr Virus (EBV)-Associated Lymphoproliferative Disorder-So-Called. Hodgkin-Like Lesion, -of the Oral Cavity in a Patient with Rheumatoid Arthritis., Head Neck Pathol, 4(4) 305-11, 2010

C.その他の刊行物

- 1) 重松久夫 : 茎状突起過長症. デンタルダイヤモンド, 2010, 4
- 2) 坂下英明 : 舌小帯短縮症. 暮らしと健康 相談室, 76, 2010

D.学会発表

1.国際学会

(3) 一般演題

- 1) Masakatsu Fukuda, Seiji Suzuki, Kaoru Kusama and Hideaki Sakashita : Expression of Hypoxia-Inducible Factor-1 α in Oral Squamous Cell Carcinoma
The 88th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research and the 5th General Session of the Pan European Region of the IADR, 2010年7月

2.全国学会

(3) 一般演題

- 1) 星野 都, 鈴木正二, 福山裕子, 田中章夫, 坂下英明 : 演題番号 B1-10) 結核性リンパ節炎の1例. 第19回日本有病者歯科医療学会総会, 神戸, 2010年4月
- 2) 真野樹子, 根岸亜矢子, 権田秋華, 岡安麻里, 重松久夫, 時岡一幸, 中塚貴志, 坂下英明, 鐘ヶ江晴秀 : 演題番号 P-19) 明海大学歯学部附属明海大学病院における過去10年間の口唇・口蓋裂患者の統計的観察. 第34回日本口蓋裂学会総会, 東京, 2010年5月
- 3) 田中章夫, 星野 都, 井上勝元, 岡本英里, 柳下治男, 菊池建太郎, 鈴木正二, 草間 薫, 坂下英明 : 演題番号 1-B-20) 短期間に口腔粘膜の5カ所から発生した多発癌の1例. 第64回NPO法人日本口腔科学会総会, 札幌, 2010年6月
- 4) 福田正勝 : p53/R2をターゲットとした口腔癌の増殖・浸潤メカニズムの解析. 第11回明海歯科医学会, 2010年6月
- 5) 菊池建太郎, 井上ハルミ, Patricia Gonzalez Alva, 宮崎裕司, 田中章夫, 重松久夫, 井出文雄, 山内雅司, 坂下英明, 草間 薫 : 演題番号 P-16) リウマチ性関節炎患者の口腔内に生じたMTX関連リンパ増殖症. 第20回口腔粘膜学会総会, 第21回NPO法人日本臨床口腔病理学会総会, 合同開催, 大阪(楠葉), 2010年7月
- 6) Masakatsu Fukuda, Kaoru Kusama and Hideaki Sakashita : Tumor suppressor p33ING1b enhances taxol-induced apoptosis in human squamous cell carcinoma of the oral cavity. 第69回日本癌学会学術総会, 2010年9月
- 7) 高木純一郎, 宮田 勝, 名倉 功, 坂下英明 : 演題番号 3-D-1-5) 当科で経験したPGAシートとフィブリン糊併用法を用いた口腔癌患者の検討. 第55回日本口腔外科学会総会, 幕張, 2010年10月

- 8) 井上勝元, 坂下英明: マウス甲状舌管の発生と消失. 第 12 回明海歯科医学会, 埼玉 (坂戸), 2010 年 10 月
- 9) 福田正勝, 井上勝元, 鈴木正二, 草間 薫, 坂下英明: 口腔扁平上皮癌における p33ING1b の発現とその役割について. 第 55 回日本口腔外科学会学術総会, 2010 年 10 月
- 10) 萩原 孝, 高橋昌司, 吉田美香子, 鈴木 昭, 重松久夫, 坂下英明, 渡部 茂
演題番号 A-6) 第二乳臼歯埋伏についての臨床的考察. 第 22 回小児
口腔外科学会総会, 東京,
2010 年 12 月
- 11) 岡本英里, 柳下治男, 菅原良和, 奥 結香, 菊池建太郎, 草間 薫, 坂下英明: 演
題番号 B-3) 角化嚢胞性歯原性腫瘍の臨床病理学的・免疫組織化学的検討. 第 22 回
小児口腔外科学会総会, 東京, 2010 年 12 月

3. 地方会

(3) 一般演題

- 1) 須賀則幸, 田中章夫, 重松久夫, 菊池建太郎, 草間 薫, 坂下英明: 演題番号 31)
上顎洞に発生した chronic expanding hematoma の 1 例. 第 189 回日本口腔外
科学会関東地方会, 栃木, 2010 年 6 月
- 2) 細川恵一, 重松久夫, 奥 結香, 堀 智一, 鈴木正二, 坂下英明 : 演題番号
43) Eagl 症候群の 1 例. 第 189 回日本口腔外科学会関東地方会, 栃木, 2010 年 6
月
- 3) 印南 永, 小澤智宣, 重松久夫, 奥村泰彦: 演題番号 2) 開口障害を伴う左側下顎
枝前方部に遠隔転移をきたした肺癌の 1 例. 日本歯科放射線学会代 211 回関東地方
会, 第 30 回北日本地方会, 第 18 回合同地方会, 札幌, 2010 年 8 月
- 4) 大山嘉人, 奥 結香, 重松久夫, 坂下英明, 菊池建太郎, 草間 薫: 演題番号 II-1)
耳下腺に発生した脂肪腫の 1 例. 第 44 回 NPO 法人日本口腔科学会関東地方部会,
千葉 (浦安), 2010 年 9 月
- 5) 岡田宗久, 中野鉄平, 坂下英明, 細川恵一: 演題番号 II-3) Le Fort I 型骨切と両
側下顎枝矢状分割術に上下歯槽骨切を併用. 第 44 回 NPO 法人日本口腔科学会関東
地方部会, 千葉 (浦安), 2010 年 9 月
- 6) 鈴木 円, 田中章夫, 菊池建太郎, 草間 薫, 坂下英明: 演題番号 15) 口蓋島状
弁により再建した軟口蓋に生じた筋上皮腫の 1 例. 第 190 回日本口腔外科学会関東
地方会, 埼玉 (川越), 2010 年 10 月
- 7) 岡田宗久, 中野鉄平, 坂下英明 演題番号 10) 耳下腺内のリンパ上皮性嚢胞の 1
例. 第 190 回日本口腔外科学会関東地方会. 埼玉 (川越), 2010 年 10 月
- 8) 川本幸寛, 重松久夫, 岡本英里, 奥 結香, 鈴木正二, 坂下英明: 演題番号 36)
口底部に迷入した歯根を内視鏡支援下で摘出した 1 例. 第 190 回日本口腔外科学会
関東地方会, 埼玉 (川越), 2010 年 10 月
- 9) 井上勝元, 田中章夫, 奥 結香, 重松久夫, 福田正勝, 天野 修, 草間 薫, 鈴
木正二, 坂下英明: 演題番号 P-7) 口腔顎顔面領域悪性腫瘍 540 例の臨床病理学的

検討, 平成 22 年度埼玉県歯科医学大会, 浦和, 2011 年 2 月

E.その他, 研究会, 講演など

- 1) 坂下英明: 口唇・口蓋裂の治療. 社会福祉法人 北養会 医療専門学校 水戸メ
ディカルカレッジ, 茨城, 2010 年 5 月
- 2) 坂下英明: デンタルインプラントに役立つ口腔顔面外科学. インプラント研究会,
東京, 2010 年 6 月

F.研究助成金等の受け入れ

1.文部省科学研究費補助金

- 1) 福田正勝, 草間 薫, 坂下英明: テーラーメイド口腔癌治療を目指した基礎的および
臨床的研究. 平成 19-21 年度, 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 B

社会健康科学講座

口腔衛生学分野

スポーツ歯学分野

障害者歯科学分野

医療倫理学分野

口腔衛生学分野

A. 著書および訳本

1. 著 書

- 1) 安井利一：学校保健；スタンダード衛生・公衆衛生，末高武彦，米満正美，神原正樹，安井利一，荒川浩久 編集，株式会社学建書院，東京， 171-188， 2011年3月
- 2) 竹下 玲，松本 勝：2章 食生活と栄養；生活健康 -測定と評価法-，荒川浩久，広瀬公治，安井利一 編集，第4版，株式会社学健書院，東京， 67-80， 2011年3月
- 3) 金子芳洋（編集代表）日本歯科衛生士会 監修：歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション，医歯薬出版株式会社，東京， 2011年4月

B. 学術論文

1. 原 著

- 1) 深井智子，野村圭介，松本 勝，流石知佳，高橋明子，福浦えり子，安井利一：女子高生へ提案する生活習慣改善プログラムの基礎資料. 明海歯科医学 Vol. 39, 24-33, 2010
- 2) 竹下 玲，江端 淳，末續真弓，流石知佳，中川和弘，小山主之，田中園治，遠藤浩正，田中 入，柏崎秀一，熊倉 学，元治茂樹，大高義文，杉山卓司，佐藤 豊，河野 哲，川俣富貴子，佐藤淑郎，中林靖雄，中筋宣子，杉山義祥，深井智子，安井利一： *Porphyromonas gingivalis* 線毛はマウス単球性骨髄性白血病細胞株 M1 細胞のアポトーシスを抑制する. 明海歯科医学, Vol. 40, 67-83, 2011
- 3) Kazuko Iwasaki, Tomiko Miki, Toshikazu Yasui, Tomoko Fukai and Kumiko Onuma : Effectiveness of Personal Instruction for Students with Gingivitis under Observation from a Yogo Teacher at a Special Needs School. School health, vol.6, 42-53, 2010

C. その他の刊行物

- 1) 竹下 玲，安井利一：ブラッシュアップ！ベースアップ！口腔細菌学1 バイオフィルムを理解し、デンタルプラークのとらえ方をみがきあげよう！，デンタルハイジーン，Vol. 30, 医歯薬出版株式会社，東京， 454-457, 2010年5月
- 2) 竹下 玲，安井利一：ブラッシュアップ！ベースアップ！口腔細菌学2 齧蝕病原性細菌のやさしい話，ミュータンス菌の知識をブラッシュアップ&ベースアップ，デンタルハイジーン，Vol. 30, 医歯薬出版株式会社，東京， 566-570, 2010年6月
- 3) 竹下 玲，安井利一：ブラッシュアップ！ベースアップ！口腔細菌学3 歯周病原性細菌のやさしい話，歯周炎の炎症と骨吸収をブラッシュアップ&ベースアップ，デンタルハイジーン，Vol. 30, 医歯薬出版株式会社，東京， 671-675, 2010年7月

D. 学会発表

1. 国際学会

- (3) 一般演題

- 1) Takahasi A, Shimizu Y and Yasui T: Laryngeal movement measurement system using outline detection method. 20th congress of the International Association for Disability and Oral Health, Ghent, Belgium, August, 2010

2.全国学会

(3) 一般演題

- 1) 宮澤 慶, 高橋明子, 深井智子, 松本 勝, 安井利一: マウスガードがゴルフ競技に及ぼす影響について. 第 21 回日本スポーツ歯科医学会, 福岡市, 2010 年 7 月
- 2) 松本 勝, 深井智子, 宮澤 慶, 高橋明子, 安井利一: 小・中学生における運動能力と咬合状態の関係. 第 21 回日本スポーツ歯科医学会, 福岡市, 2010 年 7 月
- 3) 竹下 玲, 末續真弓, 廣瀬公治, 高野安紀子, 福浦えり子, 高橋明子, 流石知佳, 上田知恵, 松本 勝, 清水良昭, 下島孝裕, 荒木久生, 安井利一: 単球様細胞への分化能を有する M1 細胞のアポトーシスに関する *Porphyromonas gingivalis* 線毛の阻害機構の解析. 第 59 回日本口腔衛生学会・総会, 新潟, 2010 年 10 月
- 4) 野村圭介, 深井智子, 松本 勝, 安井 利一: 生活習慣改善に重点をおいた女子高校生への「歯周病予防教育事業」の成果. 第 59 回日本口腔衛生学会・総会, 新潟, 2010 年 10 月
- 5) 高橋明子, 清水良昭, 安井利一: 頸部輪郭抽出法における喉頭運動の検出. 第 7 回日本口腔ケア学会総会・学術大会, 大阪市, 2010 年 11 月
- 6) 松本 勝, 深井智子, 宮澤 慶, 高橋明子, 安井利一: マウスガードがプロゴルフ選手に及ぼす影響について. 第 21 回日本臨床スポーツ医学会学術大会, つくば市, 2010 年 11 月
- 7) 市村 葉, 片山伊九右衛門, 竹下 玲, 岡田嘉代, 安井利一, 片山 直: ツボ刺激を応用した口腔乾燥症へのアプローチ. 日本歯科東洋医学第 28 回学術大会, 郡山市, 2010 年 11 月

E.その他の研究会, 講演など

- 1) 深井智子: 歯からはじまる女性の健康力応援事業. 高知市, 高知県歯科医師会会館, 2010年4月
- 2) 杉 陽子: 歯周炎の第一次予防に有用なリスク調査票開発のための疫学的研究とその意義. 明海歯科医学会第 11 回学術大会, 坂戸市 (明海大学歯学部), 2010 年 6 月
- 3) 野村圭介, 門田 綾, 深井智子, 安井利一: 女性の歯の健康力応援事業報告. 第 21 回 近畿・中国・四国 口腔衛生学会, 2010 年 6 月
- 4) 深井智子: 学校歯科保健-目指しているもの. 川越市 (川越市予防歯科センター), 2010 年 6 月
- 5) 末續真弓: かむことにはどんなよいことがあるのだろう (よい歯の教室 1). 比企郡 (ときがわ町保健センター), 2010 年 7 月
- 6) 宮澤 慶: これからのむし歯予防(1) (卒業教室), 東大和市 (東大和市保健相談所), 2010 年 8 月

- 7) 高橋明子：頸部輪郭抽出法における喉頭運動の検出．明海歯科医学会第12回学術大会（第2回大学院歯学研究科中間研究発表会），坂戸市（明海大学歯学部），2010年10月
- 8) 宮澤 慶：これからのむし歯予防(2)（卒業教室），東大和市（東大和市保健相談所），2010年12月
- 9) 竹下 玲：口腔ケアで生活習慣予防（生活習慣病と口の密接な関係）[元気わくわくゼミナール，主催；坂戸市（坂戸市と市内3大学の坂戸市民の健康づくりに関する連携協力協定に基づく取り組み事業）]，坂戸市（若葉台マンション集会所），2011年1月，
- 10) 末續真弓：それぞれの年齢にあわせた強い歯のプログラム（よい歯の教室2）．比企郡（ときがわ町保健センター），2011年3月

F.研究助成金等の受け入れ

1.文部省科学研究費補助金

- 1) 安井利一(研究代表者)，清水良昭(分担者)，日比野 靖(分担者)，竹下 玲(分担者)，村上幸生(分担者)，松本 勝(分担者) 高野安紀子(分担者)：基盤研究（C），歯科バイオマテリアルへの歯周病原細菌の付着機構と特異的抗体による阻害に関する研究．2010年度
- 2) 竹下 玲(研究代表者)，末續真弓(分担者)：基盤研究（C），細胞内侵入した歯周病原性細菌の病原性機構の解析とその細菌除去に有効な抗生剤の検索．2010年度

3.宮田研究奨励金（A）および（E）

- 1) 宮澤 慶：宮田研究奨励金（A），小・中学生の咬合の状態が運動能力に与える影響についての研究，2010年度．
- 2) 高橋明子：宮田研究奨励金（E），頸部輪郭抽出法における喉頭運動の検出，2010年度

スポーツ歯学分野

A. 著書および訳本

1. 著書

- 1) 竹下 玲, 松本 勝: 2 章 食生活と栄養; 生活健康 -測定と評価法-, 荒川浩久, 広瀬公治, 安井利一 編集, 第4版, 株式会社学健書院, 東京, 67-80, 2011年3月

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 深井智子, 野村圭介, 松本 勝, 流石知佳, 高橋明子, 福浦えり子, 安井利一: 女子高生へ提案する生活習慣改善プログラムの基礎資料. 明海歯科医学 vol.39, 24-33, 2010

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 松本 勝, 深井智子, 宮澤 慶, 高橋明子, 安井利一: 小・中学生における運動能力と咬合状態の関係. 第21回日本スポーツ歯科医学会, 福岡市, 2010年7月
- 2) 宮澤 慶, 高橋明子, 深井智子, 松本 勝, 安井利一: マウスガードがゴルフ競技に及ぼす影響について. 第21回日本スポーツ歯科医学会, 福岡市, 2010年7月
- 3) 野村 圭介, 深井 智子, 松本 勝, 安井 利一: 生活習慣改善に重点をおいた女子高校生への「歯周病予防教育事業」の成果. 第59回日本口腔衛生学会・総会, 新潟市, 2010年10月
- 4) 竹下 玲, 末續真弓, 廣瀬公治, 高野安紀子, 福浦えり子, 高橋明子, 流石知佳, 上田知恵, 松本勝, 清水良昭, 下島孝裕, 荒木久生, 安井利一: 単球様細胞への分化能を有する M1 細胞のアポトーシスに関する *porphyromonas gingivalis* 線毛の阻害機構の解析. 第59回日本口腔衛生学会・総会, 新潟, 2010年10月
- 5) 松本 勝, 深井 智子, 宮澤 慶, 高橋 明子, 安井 利一: マウスガードがプロゴルフ選手に及ぼす影響について. 第21回日本臨床スポーツ医学会学術大会, つくば市, 2010年11月

F. 研究助成金等の受け入れ

1. 文部省科学研究費補助金

- 1) 安井利一(研究代表者), 清水良昭(分担者), 日比野 靖(分担者), 竹下 玲(分担者), 村上幸生(分担者), 松本 勝(分担者) 高野安紀子(分担者): 基盤研究 (C), 歯科バイオマテリアルへの歯周病原細菌の付着機構と特異的抗体による阻害に関する研究. 2010年度

障害者歯科学分野

C.その他の刊行物

- 1) 清水良昭：「高齢者の食と安全」健康は口の中の清潔から．埼玉新聞事業社，さいたま市，2010年9月
- 2) 清水良昭：Overseas Documents 頸部聴診法の臨床応用．歯界展望，Vol.116，医歯薬出版株式会社，東京，358-359，2010年8月

D.学会発表

1.国際学会

(3) 一般演題

- 1) Takahasi A , Shimizu Y, Yasui T : Laryngeal movement measurement system using outline detection method. 20th congress of the International Association for Disability and Oral Health, Ghent, Belgium, August, 2010

2.全国学会

(1) 特別講演（教育講演）

(2) シンポジウム

- 1) 清水良昭：医療教育の中での倫理・臨床死生学等の現状と今後の課題．第7回日本口腔ケア学会，大阪市，2010年11月

(3) 一般演題

- 1) 高橋明子，清水良昭，安井利一：頸部輪郭抽出法における喉頭運動の検出．第7回日本口腔ケア学会総会・学術大会，大阪市，2010年11月
- 2) 竹下 玲，末續真弓，廣瀬公治，高野安紀子，福浦えり子，高橋明子，流石知佳，上田知恵，松本勝，清水良昭，下島孝裕，荒木久生，安井利一：単球様細胞への分化能を有する M1 細胞のアポトーシスに関する *porphyromonas gingivalis* 線毛の阻害機構の解析．第59回日本口腔衛生学会・総会，新潟，2010年10月

3.地方会

(3) 一般演題

- 1) 清水良昭，岩間一実：脳性麻痺患者に対する摂食・嚥下リハビリテーションの一例．第25回日本小児歯科学会関東地方会，2010年9月

E.その他，研究会，講演など

- 1) 清水良昭：歯科保健と肺炎予防．小沼地区寺子屋事業，坂戸市，2010年8月
- 2) 清水良昭：歯科保健と肺炎．千代田公民館，坂戸市，2010年9月
- 3) 清水良昭：歯科保健と肺炎予防，塚越地区寺子屋事業，坂戸市，2010年10月
- 4) 清水良昭：障害者の歯科治療．PDI 埼玉歯科診療所，2010年11月
- 5) 清水良昭：知的障害者・児の摂食・嚥下リハビリテーションにおける地域連携．嵐山

郷摂食・嚥下研修会, 2011年1月

F.研究助成金等の受け入れ

1.文部省科学研究費補助金

- 1) 清水良昭: 基盤研究(C), 嚥下障がい者に対する頸部聴診法の有効性を探る. 2009-2011年
- 2) 安井利一(研究代表者), 清水良昭(分担者), 日比野 靖(分担者), 竹下 玲(分担者), 村上幸生(分担者), 松本 勝(分担者) 高野安紀子(分担者): 基盤研究 (C), 歯科バイオマテリアルへの歯周病原細菌の付着機構と特異的抗体による阻害に関する研究. 2010年度

医療情報科学分野

A. 著書および訳本

1. 著書

- 1) 著者：亀梨 理，監修：山内雅司，編著：特定非営利活動法人 地域医療の連携を進める会．歯科訪問診療ソフト+データベース，メデュケーション株式会社 2011年2月

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 宮崎裕司，菊池建太郎，Patricia Gonzalez-Alva，井上ハルミ，山内雅司，落合邦康，草間 薫：歯周病と癌—口腔癌との関連について—，消化器と免疫 No. 46 228-231，2009，2010

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 宮崎裕司，井上ハルミ，菊池建太郎，Patricia Gonzalez-Alva，山内雅司，落合邦康，草間 薫：口腔癌進展における HPV および歯周病の関与について．第47回日本消化器免疫学会総会，大津，2010年7月
- 2) 菊池建太郎，井上ハルミ，Patricia Gonzalez-Alva，宮崎裕司，田中章夫，重松久夫，井出文雄，山内雅司，坂下英明，草間 薫：リウマチ性関節炎患者の口腔内に生じたMTX関連リンパ増殖症．第21回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会，大阪，2010年7月
- 3) 石原真理子，山内雅司：ヒト口腔癌細胞に対する傷害活性を有する新規テトラヒドロイソキノリン誘導体類のデザイン．第52回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会，東京，2010年9月

総合臨床医学講座

内科学分野

麻酔学分野

内科学分野

A. 著書および訳本

1. 著書

- 1) 長谷川彰彦：第3章 循環器疾患総論. In：歯科のための内科学 改訂第3版, 井田和徳, 堂前尚親, 西田次郎編集：南江堂, 東京, pp31-40, 2010年

2. 訳本

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 長谷川彰彦：歯周病と糖尿病－相互関係を中心に－ 羽生市医師会会報. 11, 38-41, 2010年
- 2) 宮澤有美子, 小貫和之, 今村敏克, 長坂浩, 長谷川彰彦, 嶋田淳：歯科領域の全身麻酔に対する患者満足度に関する研究－患者満足度に影響を及ぼす因子は何か？－：臨床麻酔, 10, 1551-1557, 2010年
- 3) 竹内菊子, 大木良蔵, 大野聖加, 今村敏克, 小貫和之, 中島丘, 高平修二, 長谷川彰彦, 町野守, 嶋田淳, 長坂浩：BLS(Basic Life Support)講習会における関心度、モチベーション、技術習得状況についての調査－歯科医療従事受講者と歯科以外の医療従事受講者の比較検討－：明海歯科医学, 40, 55-61, 2011年

3. 症例報告

- 1) 福山裕子, 鈴木正二, 長谷川彰彦, 田中眞也, 井上勝元, 坂下英明：術前心電図で頻発する二段脈を認めた症例：有病者歯科医療, 19, 39-43, 2010年
- 2) 鏑木正秋, 重松久夫, 馬越誠之, 渡邊容子, 長谷川彰彦, 坂下英明：Bartter 症候群患者における口腔外科手術の周術期管理を行った1例：小児口腔外科. 20, 58-64, 2010年
- 3) Tanaka A, Shigematsu H, Kikuchi K, Inoue K, Ide F, Hasegawa A, Kusama K and Sakashita : Metastatic tumor of the mandible from occult gallbladder cancer: A case report. Asian J Oral Maxillofac Surg, 22, 168-171, 2010年

麻酔学分野

A. 著書および訳本

1. 著書

- 1) 長坂浩 (編) 山口秀紀 : 治療中に蕁麻疹, かゆみなどが現れた. In : こんな事故が起こったらポケットブックトラブルVSリカバリー, デンタルダイヤモンド社, p 20-21, 2010
- 2) 長坂浩, 石川雅彦, 平田創一郎, 中島丘 : 「患者さんが必要とする医療を暗線に実践する」ための教育・研修プログラム. In: 歯科診療室での医療安全実践ガイド : 医歯薬出版, p14-15, 2010年9月
- 3) 石川雅彦, 平田創一郎, 中島丘, 長坂浩 : 器材の保守点検不備. 機材が引き起こすエラー3) パルスオキシメータ. In: 歯科診療室での医療安全実践ガイド, 医歯薬出版, p 146-147, 2010
- 4) 石川雅彦, 平田創一郎, 中島丘, 長坂浩 : 器材の保守点検不備. 機材が引き起こすエラー4) 生体モニタ (心電図・血圧計). In: 歯科診療室での医療安全実践ガイド, 医歯薬出版, p148-149, 2010
- 5) 石川雅彦, 平田創一郎, 中島丘, 長坂浩 : 器材の保守点検不備. 機材が引き起こすエラー17) 気管挿管器材. In: 歯科診療室での医療安全実践ガイド. 医歯薬出版, p180-181, 2010
- 6) 池上敬一, 長坂浩, 高橋誠治, 中島丘 : 歯科診療室での患者急変対応ガイド. 医歯薬出版, 2010
- 7) 金子讓 監修, 福島和昭, 原田純, 嶋田昌彦, 一戸達也, 丹羽均, 長坂浩 : 脳血管障害. In: 歯科麻酔学, 7版, 医歯薬出版, 77-83, 2011
- 8) 金子讓 監修, 福島和昭, 原田純, 嶋田昌彦, 一戸達也, 丹羽均, 長坂浩 : 神経・筋肉系疾患. In: 歯科麻酔学, 7版, 医歯薬出版, p89-93, 2011

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 宮澤有美子, 小貫和之, 今村敏克, 長坂浩, 長谷川彰彦, 嶋田淳 : 歯科領域の全身麻酔に対する患者満足度に関する研究. 臨床麻酔, 34巻, 第10号, 1551-1557, 2010
- 2) 竹内菊子, 大木良蔵, 大野聖加, 今村敏克, 小貫和之, 中島丘, 高平修二, 長谷川彰彦, 町野守, 嶋田淳, 長坂浩 : BLS (Basic life support) 講習会における関心度, モチベーション, 技術講習状況についての調査—歯科医療従事受講者と歯科以外の医療従事受講者の比較検討—. 明海歯科医学, 第40巻, 第2号, 55-61, 2011
- 3) Noriko Onuki, Hiroshi Oyake, Kazuyuki Onuki, Masanori Tsukamoto, Kouichirou Hori and Hiroshi Nagasaka : Effects of pentazocine on cardiovascular and plasma catecholamine responses in surgical patients. Anesthesia and Resuscitation, Vol 47, number 1, 35-40, 2011

D.学会発表

1.国際学会

(3) 一般演題

- 1) Hiroshi Nagasaka, Kazuyuki Onuki and Hiroshi Oyake : Pentazocine increases bispectral index values during nitrous oxide-sevoflurane anesthesia. 13th World Congress on Pain, August 29-September1, Montreal, Canada, 2010年8月
- 2) Shinichi Nakamura, Masahiko Suzuki, Hiroshi Nagasaka and Akira Kitamura : A Benzodiazepine Site Agonist, JM-1232(-) Retains Carotid Chemoreceptor Respiratory Reflex in Rabbit. American Society of Anesthesiologists Annual Meeting, October16-20, San Diego, California, USA, 2010年10月

2.全国学会

(3) 一般演題

- 1) 内田茂則, 大野聖加, 小林克江, 坂上宏, 長坂浩 : アドレナリン作用薬と dexmedetomidine によってヒト口腔扁平上皮癌細胞に誘導される細胞死の検討. 第38回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 10月8日-9日, 横須賀市, 2010年10月
- 2) 大野聖加, 小林克江, 内田茂則, 坂上宏, 長坂浩 : ミダゾラムによりヒト口腔扁平上皮癌細胞に誘導される細胞死のタイプの検討. 第38回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 10月8日-9日, 横須賀市, 2010年10月
- 3) 香西都容子, 長坂浩 : プロポフォールによる全身麻酔中および術後ICU管理中に悪性高熱症亜型様の症状を呈した症例. 第38回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 10月8日-9日, 横須賀市, 2010年10月
- 4) 宮澤有美子, 山西優一郎, 小貫和之, 今村敏克, 大木良蔵, 浅見剛史, 小貫典子, 長坂浩 : 悪性症候群の既往歴を持つ統合失調症患者の歯科治療時の全身麻酔経験. 第38回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 10月8日-9日, 横須賀市, 2010年10月
- 5) 竹内菊子, 大木良蔵, 今村敏克, 中島丘, 長坂浩 : BLS(Basic Life Support)講習会における受講者の興味, 関心度, 技術習得状況についての調査-大学病院と地域歯科医師会受講者との比較検討-. 第38回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 10月8日-9日, 横須賀市, 2010年10月
- 6) 塚本真規, 大木良蔵, 長坂浩, 菊池博達 : ペースメーカー装着患者の静脈内鎮静法の経験. 第38回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 10月8日-9日, 横須賀市, 2010年10月
- 7) 長坂浩, 小貫和之, 小宅宏史 : セボフルラン全身麻酔下でのペンタゾシンの聴覚誘発電位(AEP)に及ぼす影響. 日本臨床麻酔学会第30回大会, 11月5日-7日, 徳島市, 2010年11月
- 8) 小貫和之, 小宅宏史, 長坂浩 : ペンタゾシンとフェンタニールの Bispectral Index モニターに及ぼす影響について. 日本臨床麻酔学会第30回大会, 11月5日-7日,

徳島市，2010年11月

- 9) 竹内菊子，長坂浩：BLS(Basic Life Support)講習会における受講者の興味，関心度，技術習得状況についての調査-大学病院と地域歯科医師会受講者との比較検討-
第29回日本歯科医学教育学会学術大会，7月23-25日，盛岡市，2010年7月

E.その他，研究会，講演など

- 1) 長坂浩：お母さんは救命士.第7回子ども学会学術集会，10月2日-3日，川越市，2010年10月
2) 長坂浩，小貫和之，今村敏克：AED講習.第7回子ども学会学術集会，10月2日-3日，川越市，2011年10月

F.研究助成金等の受け入れ

1.文部省科学研究費補助金

長坂浩：基盤研究(C)，麻酔薬の各種悪性腫瘍細胞に対するオートファジー誘導活性，平成22年度.

M P L

MPL

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Takano T, Tsutsumi K, Saito T, Asada A, Tomomura M, Fukuda M, and Hisanaga S : AATYK1A phosphorylation by Cdk5 regulates the recycling endosome pathway. *Genes Cells*, 15(7):783-97, 2010
- 2) Sarangowa Ochir, Kouta Ishii, ByoungJae Park, Tomohiko Matsuta and Makoto Nishizawa : Botanical origin of Mei-gui Hua (petal of a Rosa species). *Journal of Natural medicines*, 409-416, 64(4), 2010
- 3) Tsutsumi K, Takano T, Endo R, Fukuda M, Ohshima T, Tomomura M and Hisanaga S : Phosphorylation of AATYK1 by Cdk5 suppresses its tyrosine phosphorylation *PLoS One*. 5(4):e10260, 2010
- 4) Tomomura M, Fujii T, Sakagami H and Tomomura A : Serum calcium-decreasing factor, caldecrin, ameliorates muscular dystrophy in dy/dy mice. *In vivo*. 25(2):157-163, 2011
- 5) Hasegawa H, Kido S, Tomomura M, Fujimoto K, Ohi M, Kiyomura M, Kanegae H, Inaba A, Sakagami H and Tomomura A : Serum calcium-decreasing factor, caldecrin, inhibits osteoclast differentiation by suppression of NFATc1 activity. *J Biol Chem*. 285(33):25448-57, 2010

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) Takano T, Tsutsumi K, Saito T, Asada A, Tomomura M, Fukuda M and Hisanaga S : AATYK1A phosphorylation by Cdk5 regulates the recycling endosome pathway. 第 62 回 日本細胞生物学会, 大阪, 2010 年 5 月
- 2) Takano T, Tsutsumi K, Saito T, Asada A, Tomomura M, Fukuda M and Hisanaga S : AATYK1A phosphorylation by Cdk5 regulates the recycling endosome pathway. 33 回日本神経科学大会, 神戸, 2010 年 9 月
- 3) 金澤 勉, 中村賀香, 松田友彦, 結城雄大, サランゴワ, 山岸 喬, 西澤 信 : ハマナス花中のフェノール性成分について. 日本生薬学会第 57 回年会, 徳島, 2010 年 9 月
- 4) 松田友彦, 林 心盈, サランゴワ, 金澤 勉, 山岸 喬 : ハマナス花卉の香気成分. 日本生薬学会第 57 回年会, 徳島, 2010 年 9 月
- 5) 坂上宏, メイ・モウ・テツ, 河野みち代, 友村美根子, 友村明人, 櫛田達矢, 牧野徹 : マウスマクロファージにおけるシイタケ菌糸体由来リグニン配糖体のシグナル伝達経路の DNA マイクロアレー解析. 第 52 回歯科基礎医学会学術大会, 神戸, 2010 年 9 月

- 6) 薩仁高娃, 松田友彦, 結城雄大, 山岸 喬, 金澤 勉, 西澤 信: 中国市場のバイ玫瑰花茶の起源について. 日本生薬学会第 57 回年会, 徳島, 2010 年 9 月
- 7) 長澤則英, 松田友彦, 山岸 喬, 金澤 勉: 北海道産タマネギ外皮中のフェノール性化合物. 日本生薬学会第 57 回年会, 徳島, 2010 年 9 月
- 8) 結城雄大, 松田友彦, Sarangowa, 金澤 勉, マリヤ サキム, 西澤信, 山岸 喬: 新疆省のマイカイのフラボノイドについて. 日本生薬学会第 57 回年会, 徳島, 2010 年 9 月
- 9) 結城雄大, 松田友彦, Sarangowa, 金澤 勉, マリヤ サキム, 西澤信, 山岸 喬: 新疆省のマイカイのフラボノイドについて. 日本生薬学会第 57 回年会, 徳島, 2010 年 9 月
- 10) 藤本健吾, 稲葉明美, 友村美根子, 友村明人: 血清カルシウム降下因子カルデクリンによるリウマチ進行抑制効果. 第 52 回歯科基礎医学会学術大会, 松戸, 2010 年 9 月
- 11) Takano T, Tsutsumi K, Yamazaki R, Saito T, Asada A, Fukuda M, Tomomura M and Hisanaga S: AATYK1A phosphorylation by Cdk5 regulates neurite outgrowth via recycling endosome pathway. 第 33 回日本分子生物学会年会・第 83 回日本生化学会大会, 神戸, 2010 年 12 月
- 12) 友村美根子, 坂上宏, 友村明人: 筋ジストロフィーにおけるカルデクリンの治療効果. 第 33 回日本分子生物学会年会・第 83 回日本生化学会大会, 神戸, 2010 年 12 月
- 13) 藤本健吾, 稲葉明美, 友村美根子, 友村明人: 関節リウマチ進行における血清カルシウム降下因子カルデクリン効果. 第 33 回日本分子生物学会年会・第 83 回日本生化学会大会, 神戸, 2010 年 12 月
- 14) 堀井春香, 上田純也, 田村雅史, 坂上宏, 友村美根子, 友村明人, 白瀧義明: 白鶴霊芝の成分と生理活性について. 日本薬学会第 131 年会, 静岡, 2011 年 3 月
- 15) 増田裕子, 上田純也, 田村雅史, 坂上宏, 友村美根子, 友村明人, 白瀧義明, Marie Noel: 'Velano' バルブ抽出物の生理活性について. 日本薬学会第 131 年会, 静岡, 2011 年 3 月
- 16) 友村明人, 長谷川紘也, 友村美根子: Serum calcium-decreasing factor, caldecrin, inhibits osteoclast differentiation by suppression of NFATc1 activity, 第 33 回日本分子生物学会年会・第 83 回日本生化学会大会, 神戸, 2010 年 12 月
- 17) 坂上 宏, 松田友彦, メイ・モウ・テツ, 北嶋まどか, 大泉 浩史, 大泉 高明: クマザサ葉アルカリ抽出液は、IL-1 β で活性化されたヒト歯肉線維芽細胞による炎症性サイトカインの産生を抑制する. 第 84 回日本薬理学会年会, 横浜, 2011 年 3 月
- 18) 松田友彦, メイ・モウ・テツ, 坂上 宏, 佐藤和恵, 中島秀喜, 金本大成, 寺久保繁美, 北嶋まどか, 大泉 浩史, 大泉 高明: クマザサ葉由来ルテオリン配糖体の生物活性. 第 84 回日本薬理学会年, 横浜, 2011 年 3 月
- 19) メイ・モウ・テツ, 河野みち代, 松田友彦, 坂上 宏, 友村明人, 友村美根子, 櫛

田達矢, 牧野 徹: シイタケ菌糸体培地培養エキス(LEM)リグニン配糖体による Dectin-2 受容体シグナル経路の活性化. 第 84 回日本薬理学会年, 横浜, 2011 年 3 月

- 20) 北嶋まどか, メイ・モウ・テツ, 松田友彦, 坂上 宏, 山本正次, 大泉 浩史, 大泉 高明, 牧野 徹: リグニン配糖体を含む植物抽出液の紫外線に対する細胞保護作用. 第 84 回日本薬理学会年, 横浜, 2011 年 3 月